

平成28年度
ひとり親家庭等アンケート
調査結果

平成29年1月

帯 広 市

目次

1 アンケートの概要	2
2 アンケートの結果		
(1) ひとり親家庭等の状況・生活について	3
(2) 経済状況について	10
(3) 仕事について	11
(4) 養育費について	20
(5) 公的サービス等の利用状況について	25
(6) 日常生活の悩みや困りごとについて	31
3 アンケート結果のまとめ	35
4 アンケート用紙	38

1 アンケートの概要

○ 目的

ひとり親家庭の実態などを把握することで、今後の本市の取組みの参考とするもの。

○ 対象者

平成28年8月1日時点の児童扶養手当受給資格者2,492人を対象とした。

○ 実施方法

郵送による配付・窓口（現況届提出時）での回収。無記名方式。

○ 実施期間

平成28年8月1日～9月2日

○ 回収状況

配付数	有効回答数	有効回答率
2,492	1,598	64.13

○ 報告書の留意点

・回答率(%)は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

・問2以降のグラフは、全体、父子家庭、母子家庭で作成している。内訳は下表のとおりである。なお、父母以外の者が子を養育している世帯や問1が無回答であった者が8人いたため、父子家庭と母子家庭の合計が全体数と合わない。

	全体	父子家庭	母子家庭	その他 (養育者)	問1 無回答
回答数	1,598	72	1,518	5	3
割合	100.0%	4.5%	95.0%	0.3%	0.2%

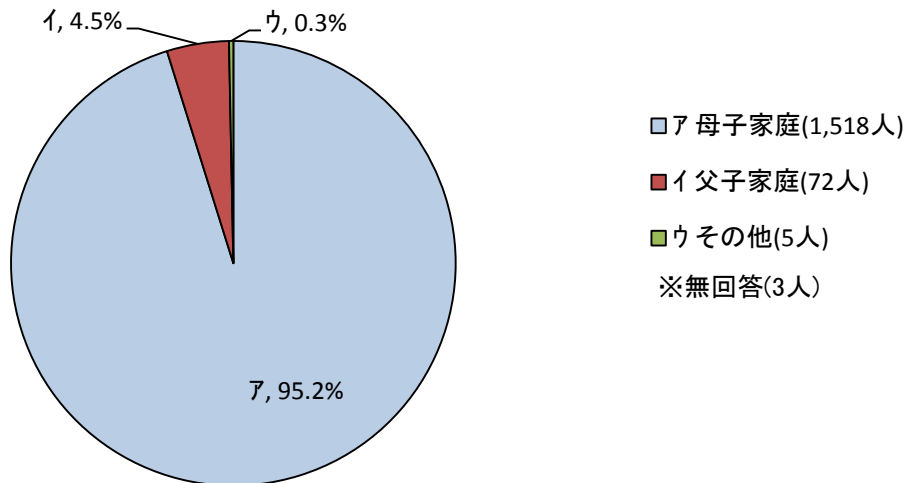
2 アンケートの結果

(1)ひとり親家庭等の状況・生活について

問1 あなた(受給者、以下同じ)の世帯の状況をお答えください。

回答者の世帯の状況は、「母子家庭」が9割を占めています。

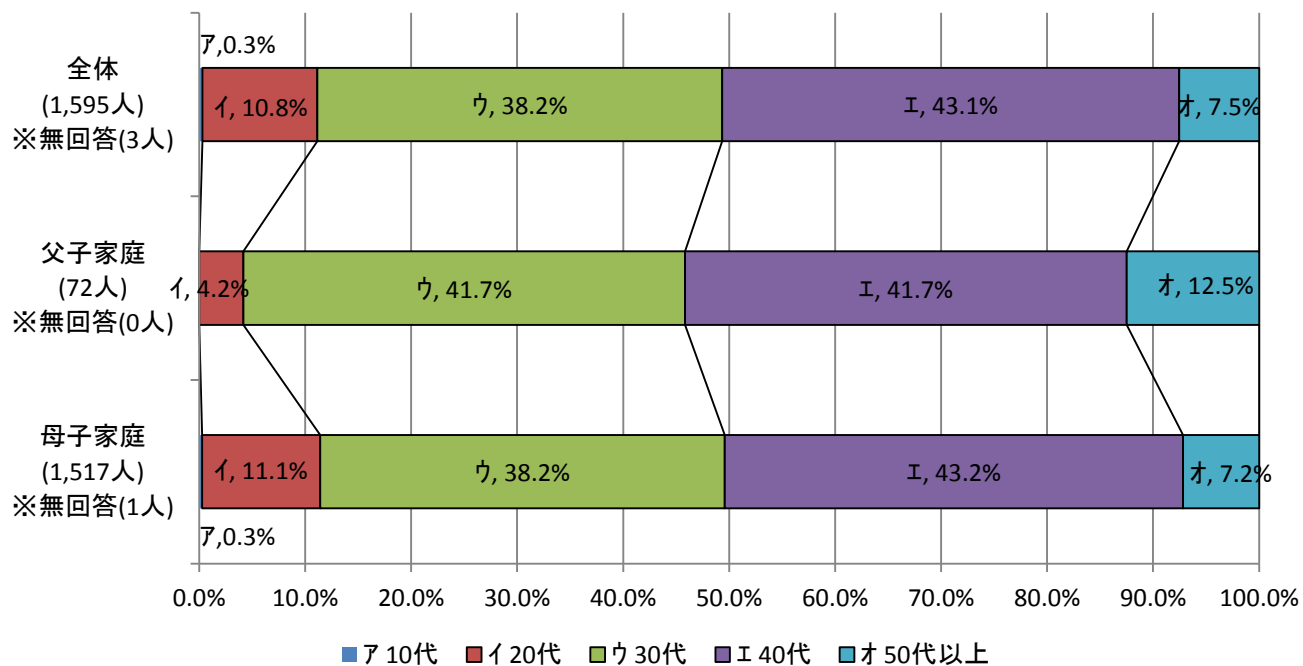
① 母子家庭 : 95.2% ② 父子家庭 : 4.5%



問2 あなたの年齢をお答えください。

回答者の年齢は、全体・父子家庭・母子家庭のいずれも30代から40代で、全体の8割を占めています。

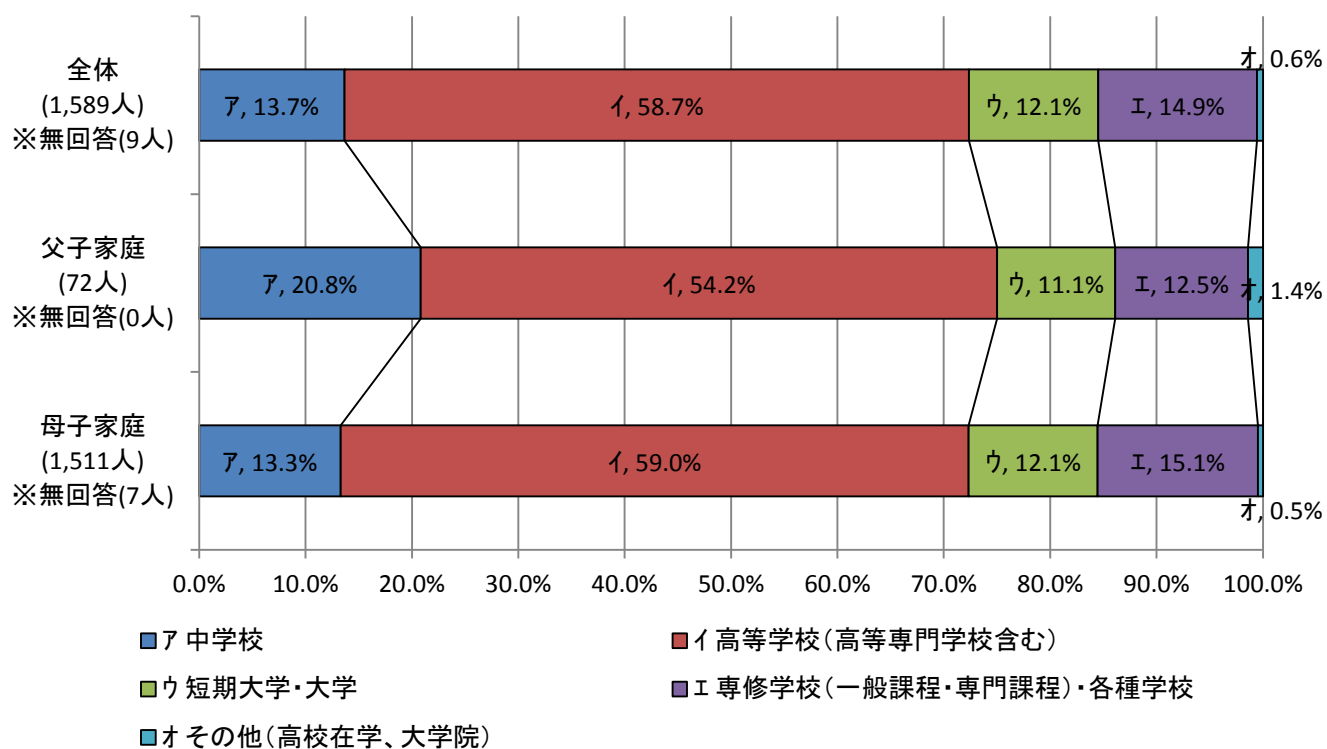
【全 体】	① 40代	: 43.1%	② 30代	: 38.2%	③ 20代	: 10.8%
【父子家庭】	① 40代	: 41.7%	① 30代	: 41.7%	③ 50代以上	: 12.5%
【母子家庭】	① 40代	: 43.2%	② 30代	: 38.2%	③ 20代	: 11.1%



問3 あなたの最終学歴をお答えください。

最終学歴は、全体・父子家庭・母子家庭のいずれも「高等学校(高等専門学校含む)」が、最も多い結果となっています。

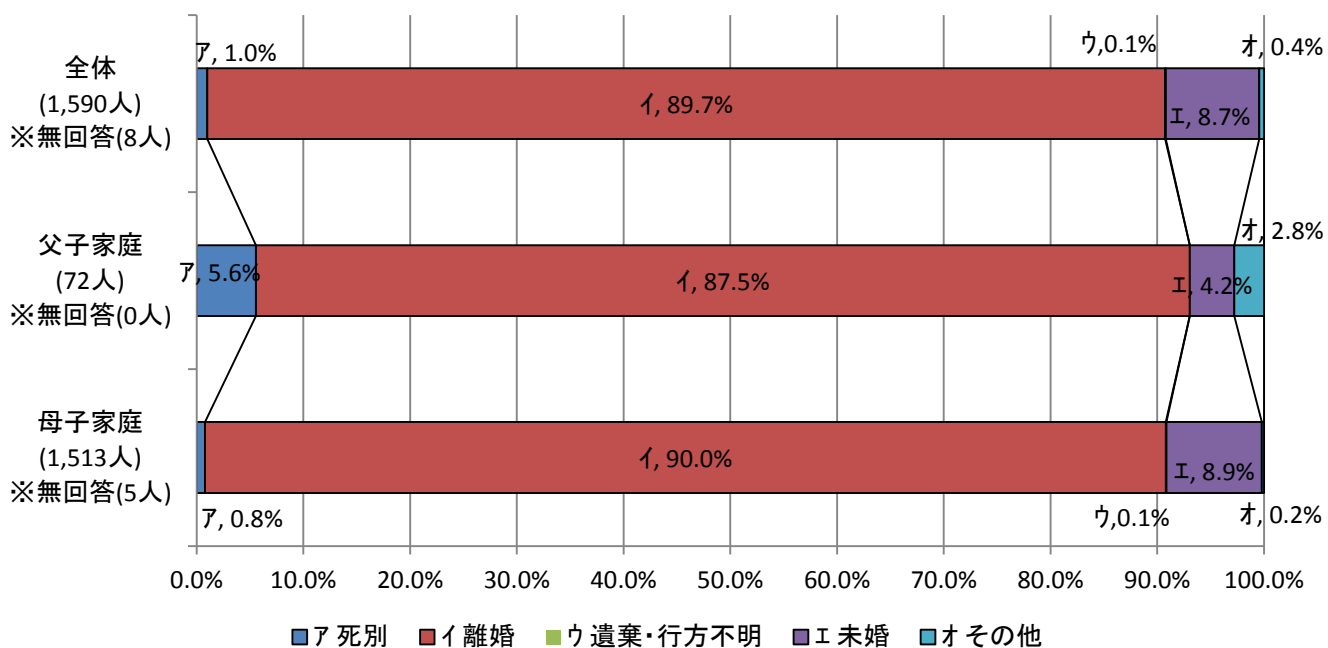
【全体】	① 高等学校(高等専門学校含む)	: 58.7%
	② 専修学校(一般課程・専門課程)・各種学校	: 14.9%
	③ 中学校	: 13.7%
【父子家庭】	① 高等学校(高等専門学校含む)	: 54.2%
	② 中学校	: 20.8%
	③ 専修学校(一般課程・専門課程)・各種学校	: 12.5%
【母子家庭】	① 高等学校(高等専門学校含む)	: 59.0%
	② 専修学校(一般課程・専門課程)・各種学校	: 15.1%
	③ 中学校	: 13.3%



問4 あなたがひとり親になった理由をお答えください。

ひとり親になった理由は、全体・父子家庭・母子家庭のいずれも「離婚」が9割を占めています。

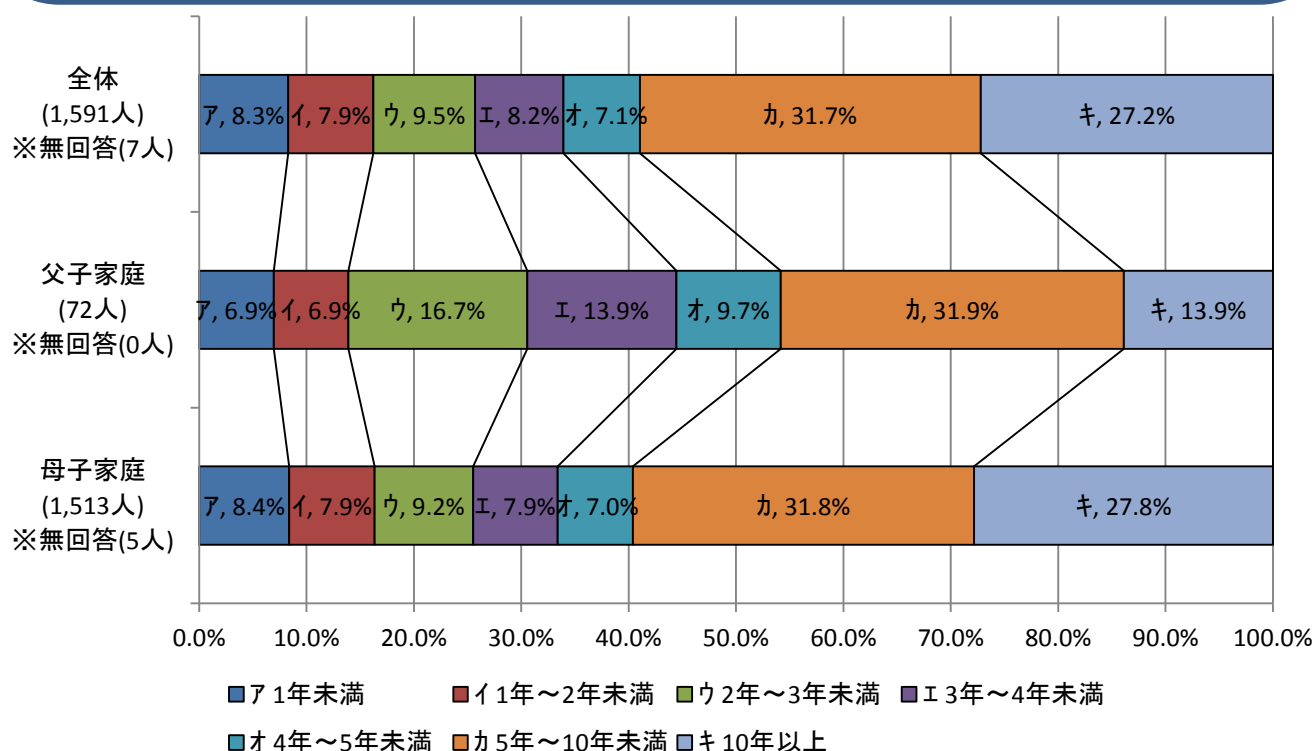
- 【全 体】 ① 離婚 : 89.7% ② 未婚 : 8.7% ③ 死別 : 1.0%
 【父子家庭】 ① 離婚 : 87.5% ② 死別 : 5.6% ③ 未婚 : 4.2%
 【母子家庭】 ① 離婚 : 90.0% ② 未婚 : 8.9% ③ 死別 : 0.8%



問5 あなたがひとり親になってからの年数をお答えください。

ひとり親になってからの年数は、全体・父子家庭・母子家庭のいずれも「5年～10年未満」が最も多く、3割を占めています。

- 【全 体】 ① 5年～10年未満 : 31.7%
 ② 10年以上 : 27.2%
 ③ 2年～3年未満 : 9.5%
- 【父子家庭】 ① 5年～10年未満 : 31.9%
 ② 2年～3年未満 : 16.7%
 ③ 3年～4年未満 : 13.9%
 ④ 10年以上 : 13.9%
- 【母子家庭】 ① 5年～10年未満 : 31.8%
 ② 10年以上 : 27.8%
 ③ 2年～3年未満 : 9.2%



問6 あなたのお子様の人数をお答えください。

1世帯当たりの子どもの人数は、全体・父子家庭・母子家庭のいずれも「1人」が5割と最も多くなっています。また、子どもの年齢区分は、全体・父子家庭・母子家庭のいずれも「小学生」が最も多い割合を占めています。

○ 1世帯当たりの子どもの人数

【全 体】 ① 1人 : 50.6% ② 2人 : 37.9% ③ 3人 : 8.9%

【父子家庭】 ① 1人 : 50.0% ② 2人 : 41.7% ③ 3人 : 5.6%

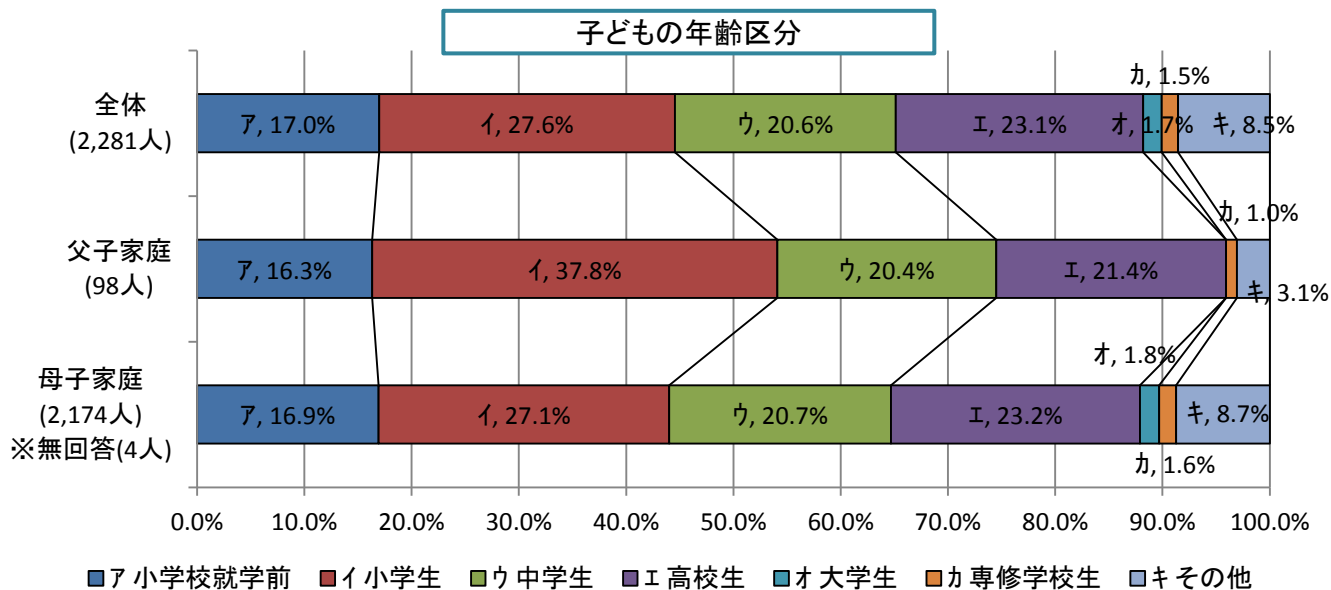
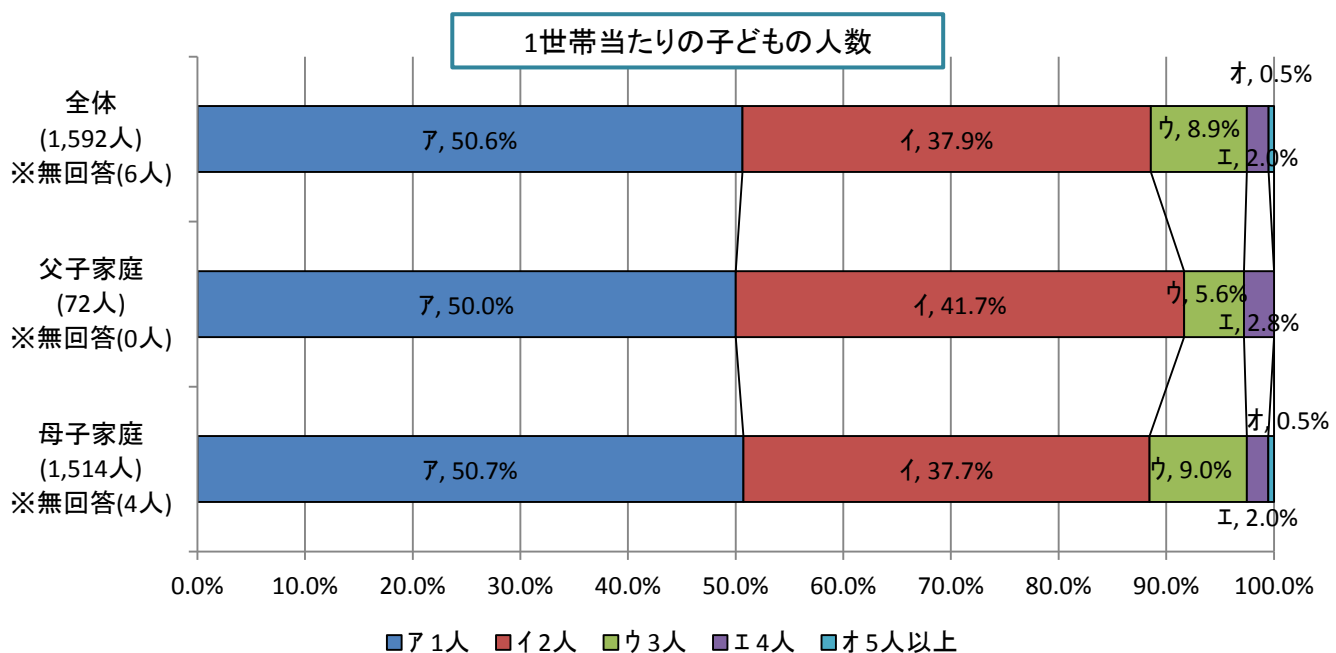
【母子家庭】 ① 1人 : 50.7% ② 2人 : 37.7% ③ 3人 : 9.0%

○ 子どもの年齢区分

【全 体】 ① 小学生 : 27.6% ② 高校生 : 23.1% ③ 中学生 : 20.6%

【父子家庭】 ① 小学生 : 37.8% ② 高校生 : 21.4% ③ 中学生 : 20.4%

【母子家庭】 ① 小学生 : 27.1% ② 高校生 : 23.2% ③ 中学生 : 20.7%

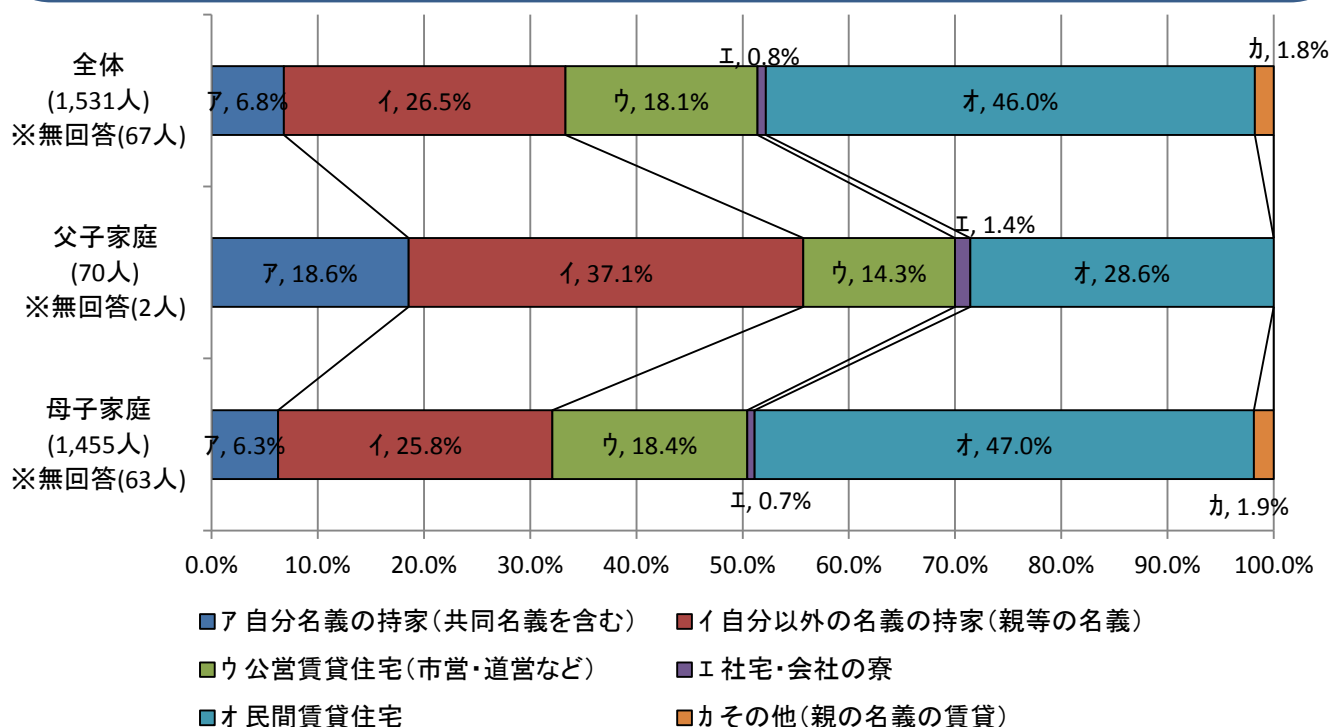


※高校生には、高等専門学校の生徒を含む ※大学生には、短期大学の生徒を含む
 ※専修学校生とは、専修学校(一般課程・専門課程)及び各種学校の生徒のこと

問7 あなたのお住まいの状況についてお答えください。

住まいの状況は、全体・母子家庭で「民間賃貸住宅」が最も多く、5割近くを占めています。一方、父子家庭は「自分以外の名義の持家(親等の名義)」が最も多く、4割を占めています。

- 【全体】 ① 民間賃貸住宅 : 46.0%
 ② 自分以外の名義の持家(親等の名義) : 26.5%
 ③ 公営賃貸住宅(市営・道営など) : 18.1%
- 【父子家庭】 ① 自分以外の名義の持家(親等の名義) : 37.1%
 ② 民間賃貸住宅 : 28.6%
 ③ 自分名義の持家(共同名義を含む) : 18.6%
- 【母子家庭】 ① 民間賃貸住宅 : 47.0%
 ② 自分以外の名義の持家(親等の名義) : 25.8%
 ③ 公営賃貸住宅(市営・道営など) : 18.4%

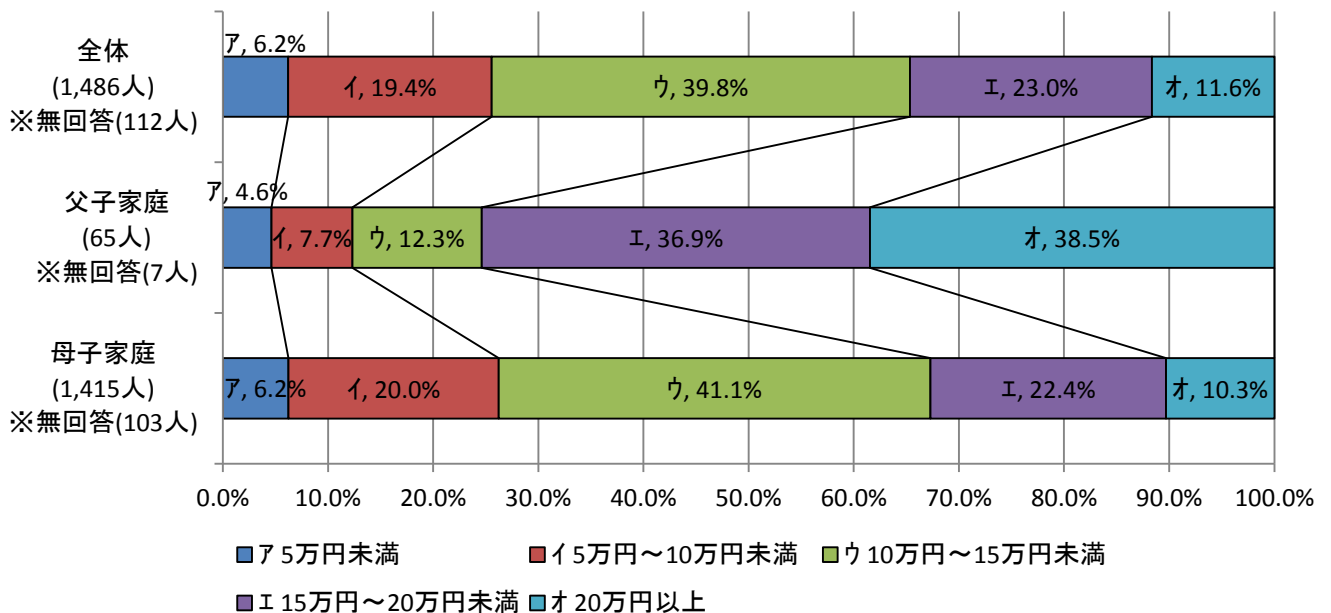


(2) 経済状況について

問8 あなたの1か月の収入(養育費・各種手当を含む、1か月当たりの平均手取り収入)をお答えください。

養育費を含む1か月の収入は、全体・母子家庭で「10万円～15万円未満」が最も多く、4割を占めています。一方で、父子家庭では、「20万円以上」が4割を占めています。

- 【全 体】 ① 10万円～15万円未満 : 39.8%
 ② 15万円～20万円未満 : 23.0%
 ③ 5万円～10万円未満 : 19.4%
- 【父子家庭】 ① 20万円以上 : 38.5%
 ② 15万円～20万円未満 : 36.9%
 ③ 10万円～15万円未満 : 12.3%
- 【母子家庭】 ① 10万円～15万円未満 : 41.1%
 ② 15万円～20万円未満 : 22.4%
 ③ 5万円～10万円未満 : 20.0%



(3) 仕事について

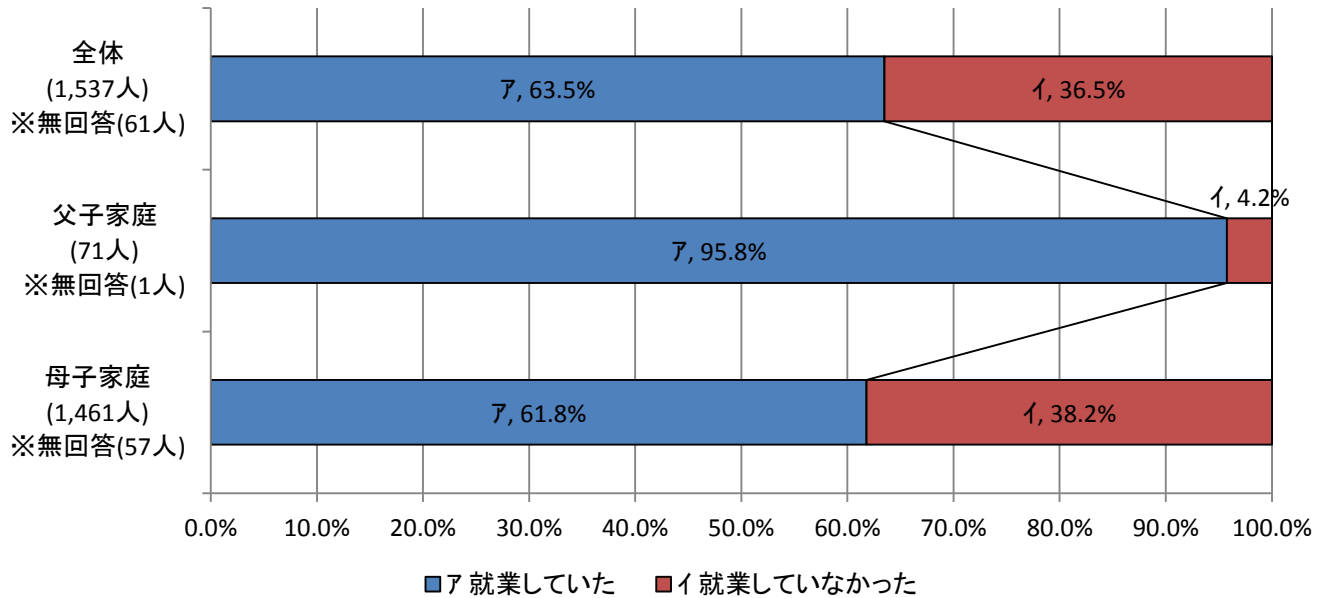
問9 あなたのひとり親家庭になる前の就業状況をお答えください。

ひとり親家庭になる前の就業状況は、全体・父子家庭・母子家庭のいずれも「就業していた」が最も高い割合を占めています。

【全 体】 ① 就業していた : 63.5% ② 就業していなかった : 36.5%

【父子家庭】 ① 就業していた : 95.8% ② 就業していなかった : 4.2%

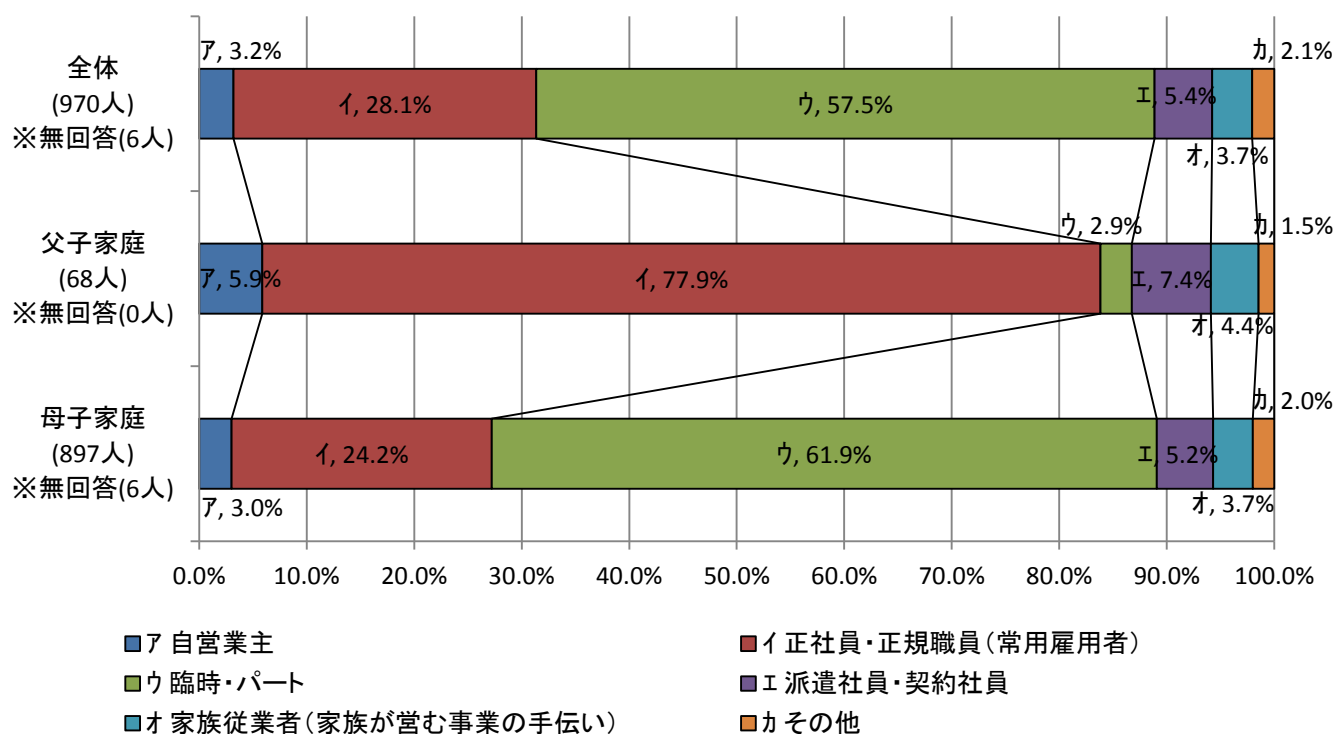
【母子家庭】 ① 就業していた : 61.8% ② 就業していなかった : 38.2%



問9-1 問9で「1:就業していた」と答えた方で、当時の就業の形態をお答えください。

ひとり親家庭になる前の就業形態としては、全体・母子家庭では「臨時・パート」が6割を占めているのに対し、父子家庭では「正社員・正規職員(常用雇用者)」が最も多く、8割を占めています。

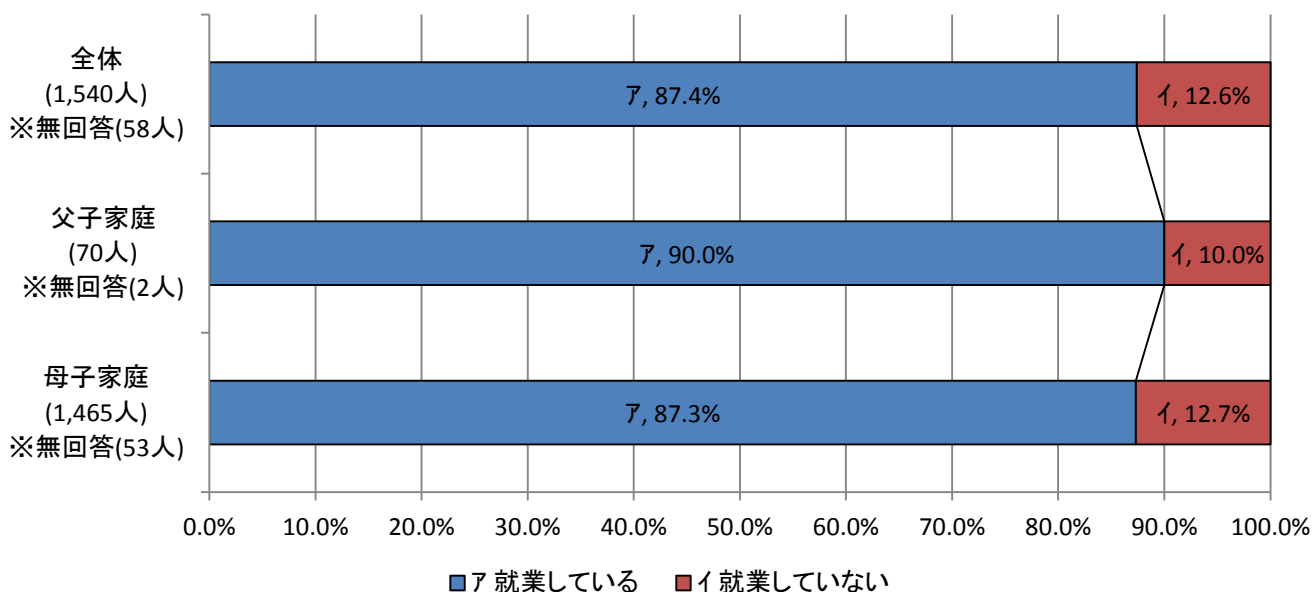
- 【全 体】 ① 臨時・パート : 57.5%
 ② 正社員・正規職員(常用雇用者) : 28.1%
 ③ 派遣社員・契約社員 : 5.4%
- 【父子家庭】 ① 正社員・正規職員(常用雇用者) : 77.9%
 ② 派遣社員・契約社員 : 7.4%
 ③ 自営業主 : 5.9%
- 【母子家庭】 ① 臨時・パート : 61.9%
 ② 正社員・正規職員(常用雇用者) : 24.2%
 ③ 派遣社員・契約社員 : 5.2%



問10 あなたの現在の就業状況をお答えください。

現在の就業状況は、全体・父子家庭・母子家庭のいずれも就業している割合が9割を占めています。

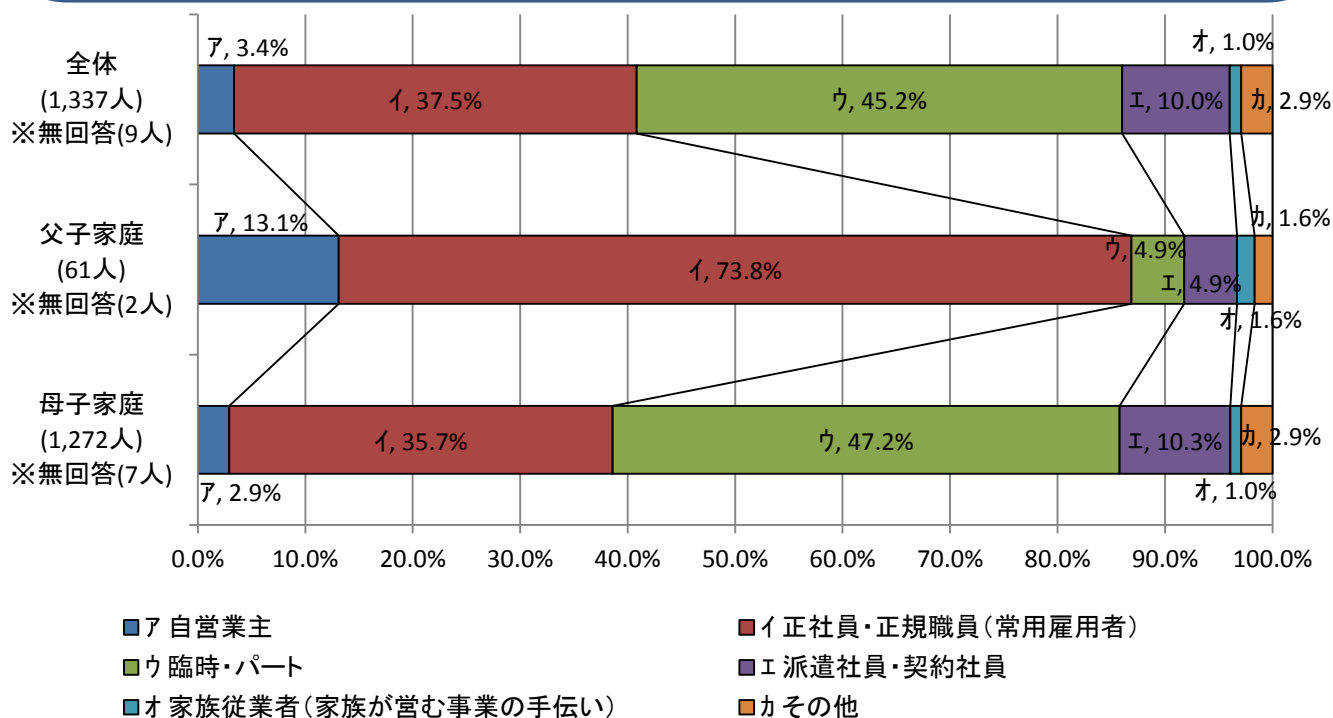
- 【全 体】 ① 就業している : 87.4% ② 就業していない : 12.6%
【父子家庭】 ① 就業している : 90.0% ② 就業していない : 10.0%
【母子家庭】 ① 就業している : 87.3% ② 就業していない : 12.7%



問10-1 問10で「1:就業している」と答えた方で、現在の就業の形態をお答えください。

現在の就業形態は、全体・母子家庭では「臨時・パート」が最も高く5割を占めています。一方、父子家庭は「正社員・正規職員(常用雇用者)」が最も高く7割を占めています。

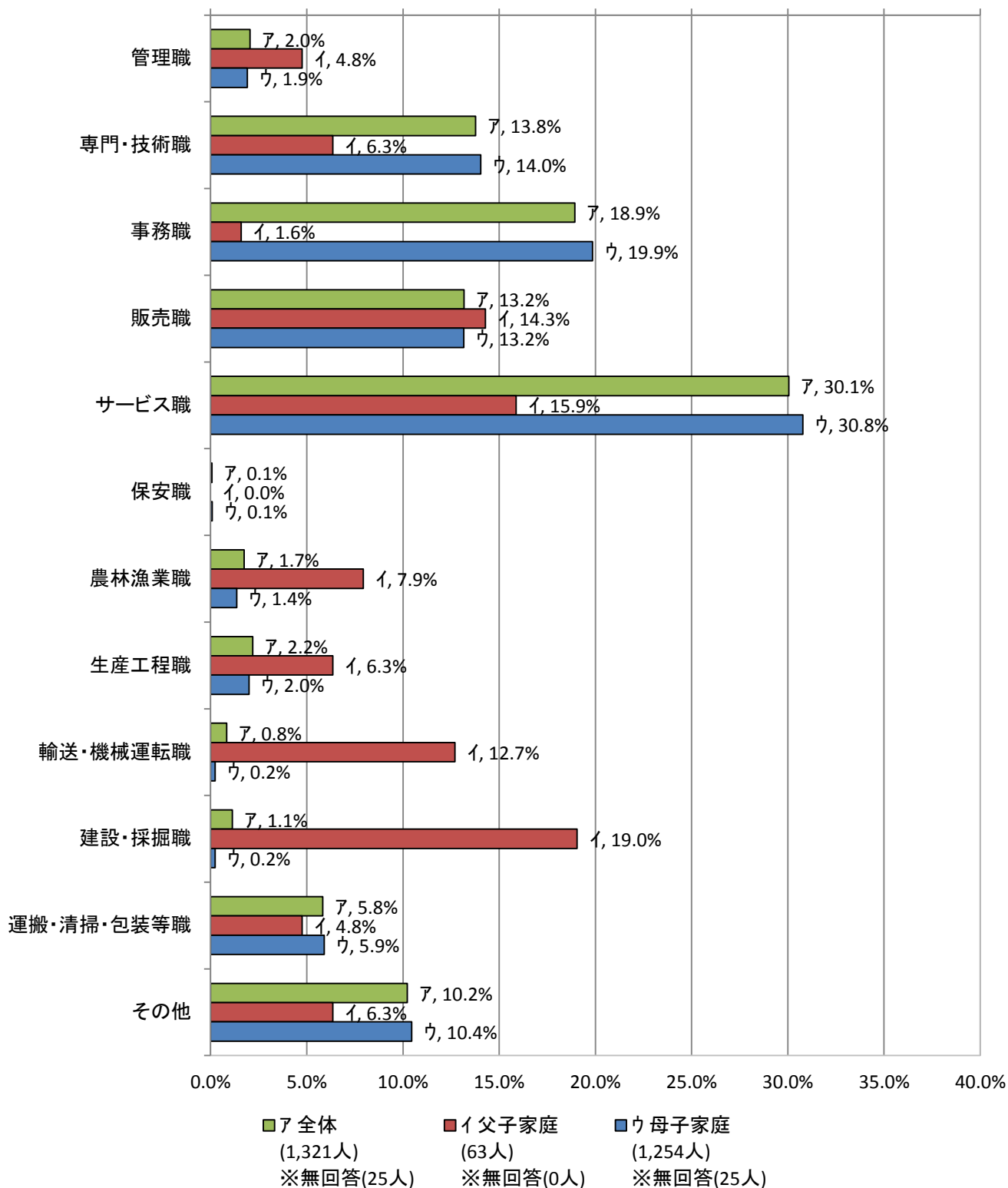
- 【全 体】 ① 臨時・パート : 45.2%
 ② 正社員・正規職員(常用雇用者) : 37.5%
 ③ 派遣社員・契約社員 : 10.0%
- 【父子家庭】 ① 正社員・正規職員(常用雇用者) : 73.8%
 ② 自営業主 : 13.1%
 ③ 臨時・パート : 4.9%
 ④ 派遣社員・契約社員 : 4.9%
- 【母子家庭】 ① 臨時・パート : 47.2%
 ② 正社員・正規職員(常用雇用者) : 35.7%
 ③ 派遣社員・契約社員 : 10.3%



問10-2 問10で「1:就業している」と答えた方で、現在の職種をお答えください。

現在の職種は、全体・母子家庭では「サービス職」が最も高く3割を占めています。一方、父子家庭では「建設・採掘職」が最も高く2割を占めています。

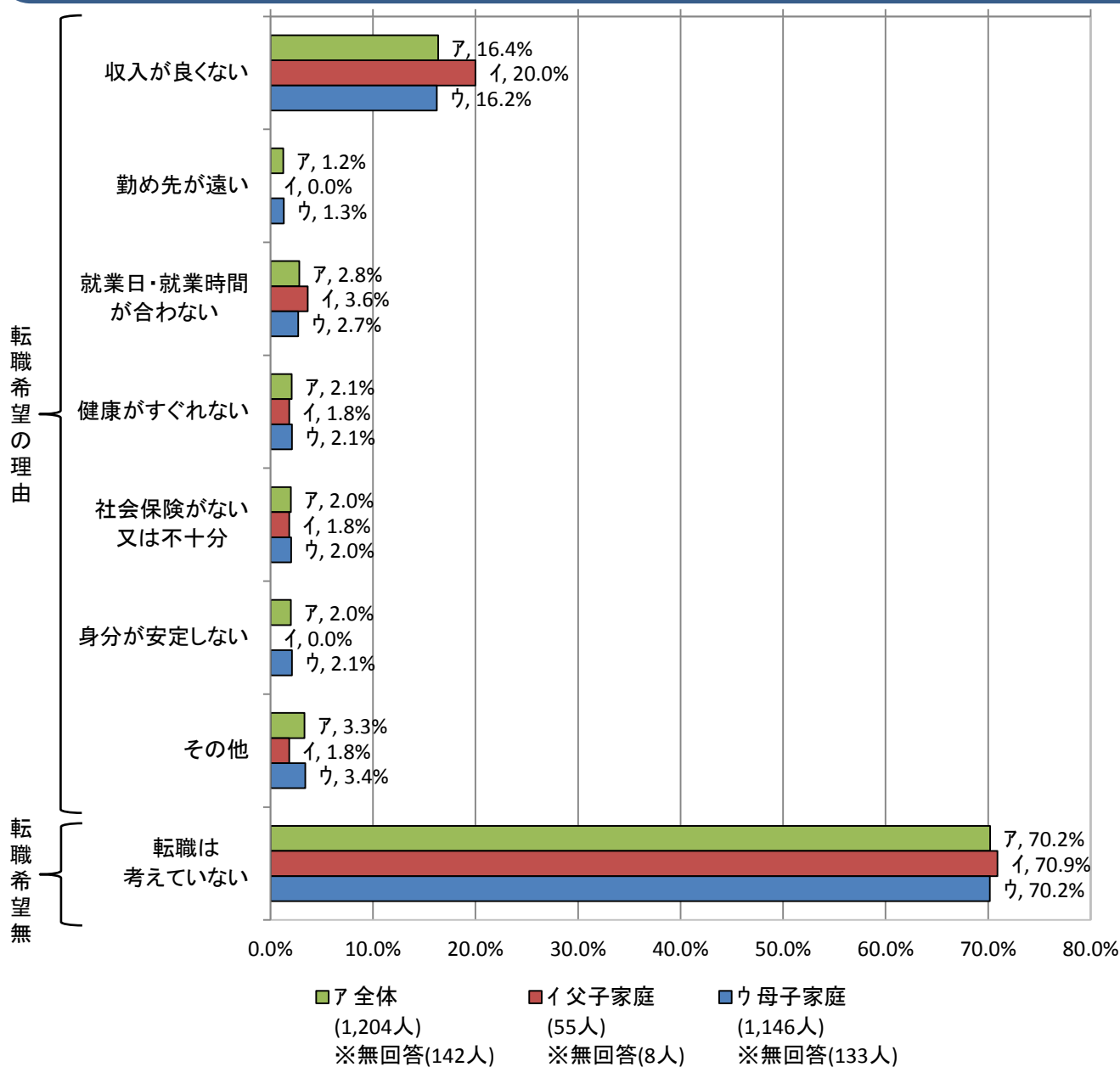
【全 体】	① サービス職	: 30.1%	② 事務職	: 18.9%	③ 専門・技術職	: 13.8%
【父子家庭】	① 建設・採掘職	: 19.0%	② サービス職	: 15.9%	③ 販売職	: 14.3%
【母子家庭】	① サービス職	: 30.8%	② 事務職	: 19.9%	③ 専門・技術職	: 14.0%



問10-3 問10で「1:就業している」と答えた方で、転職の希望についてお答えください。

転職希望については、全体・父子家庭・母子家庭のいずれも「転職は考えていない」が、最も多く7割を占めています。

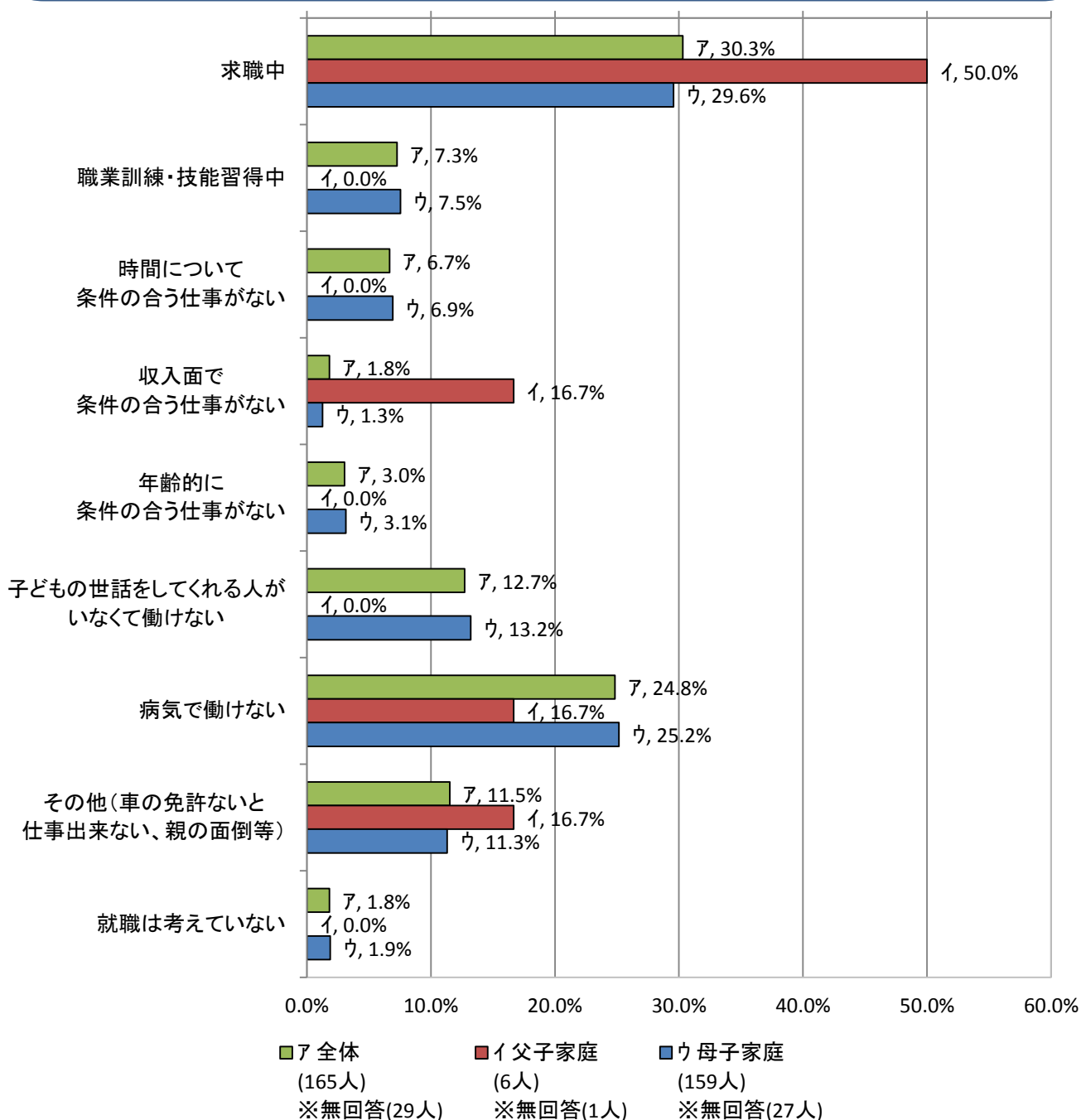
- 【全 体】 ① 転職は考えていない : 70.2% ② 転職希望の理由 収入が良くない : 16.4%
 【父子家庭】 ① 転職は考えていない : 70.9% ② 転職希望の理由 収入が良くない : 20.0%
 【母子家庭】 ① 転職は考えていない : 70.2% ② 転職希望の理由 収入が良くない : 16.2%



問10-4 問10で「2:就業していない」と答えた方について、就職の希望についてお答えください。

就職の希望は、全体・父子家庭・母子家庭のいずれも「求職中」が最も多い回答となっています。

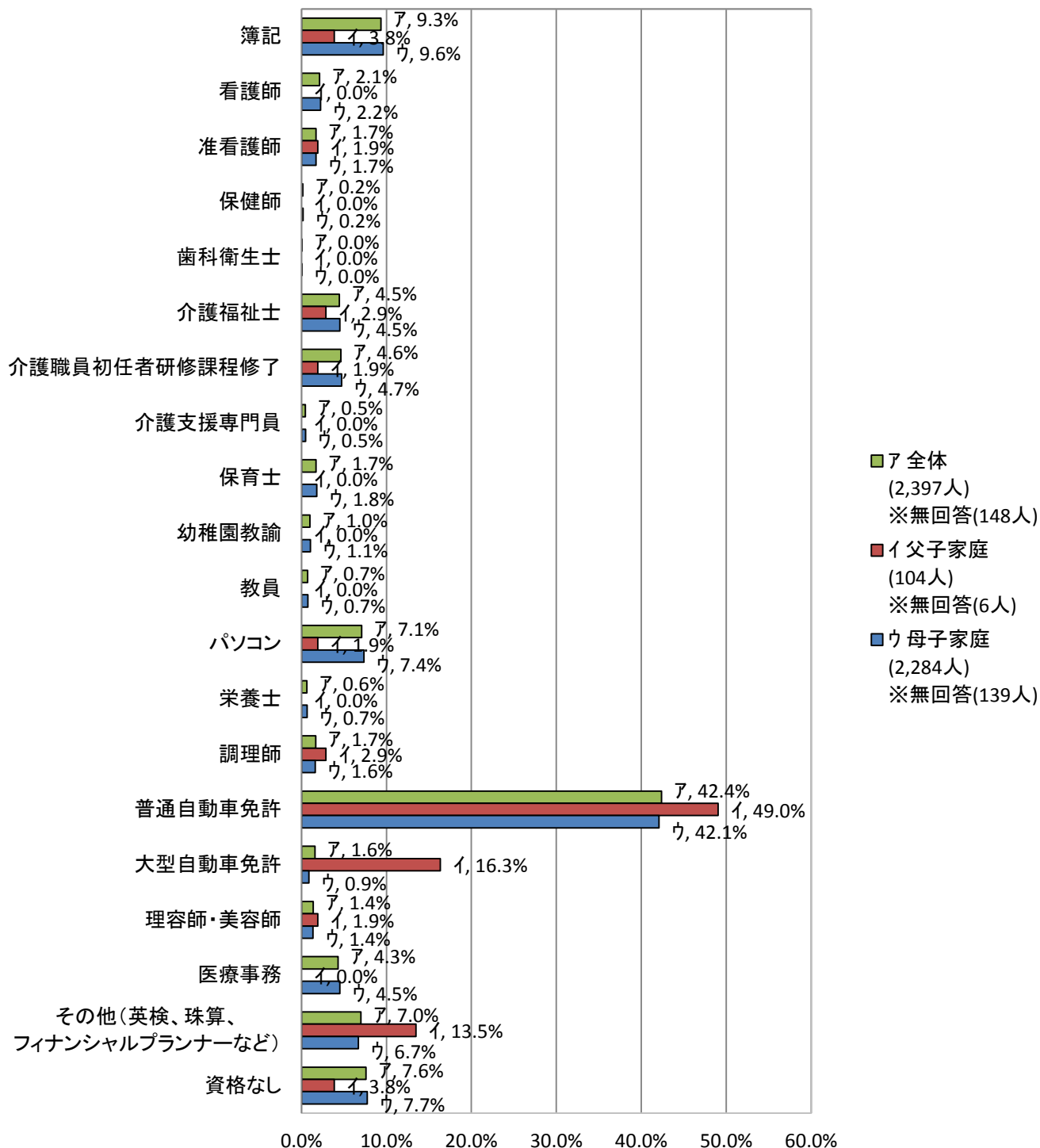
【全 体】	① 求職中	: 30.3%
	② 病気で働けない	: 24.8%
	③ 子どもの世話をしてくれる人がいなくて働けない	: 12.7%
【父子家庭】	① 求職中	: 50.0%
	② 収入面で条件の合う仕事がない	: 16.7%
	② 病気で働けない	: 16.7%
	② その他	: 16.7%
【母子家庭】	① 求職中	: 29.6%
	② 病気で働けない	: 25.2%
	③ 子どもの世話をしてくれる人がいなくて働けない	: 13.2%



問11 あなたの現在の資格の取得状況をお答えください。(複数回答)

現在の資格の取得状況は、全体・父子家庭・母子家庭のいずれも「普通自動車免許」が最も多い回答となっています。

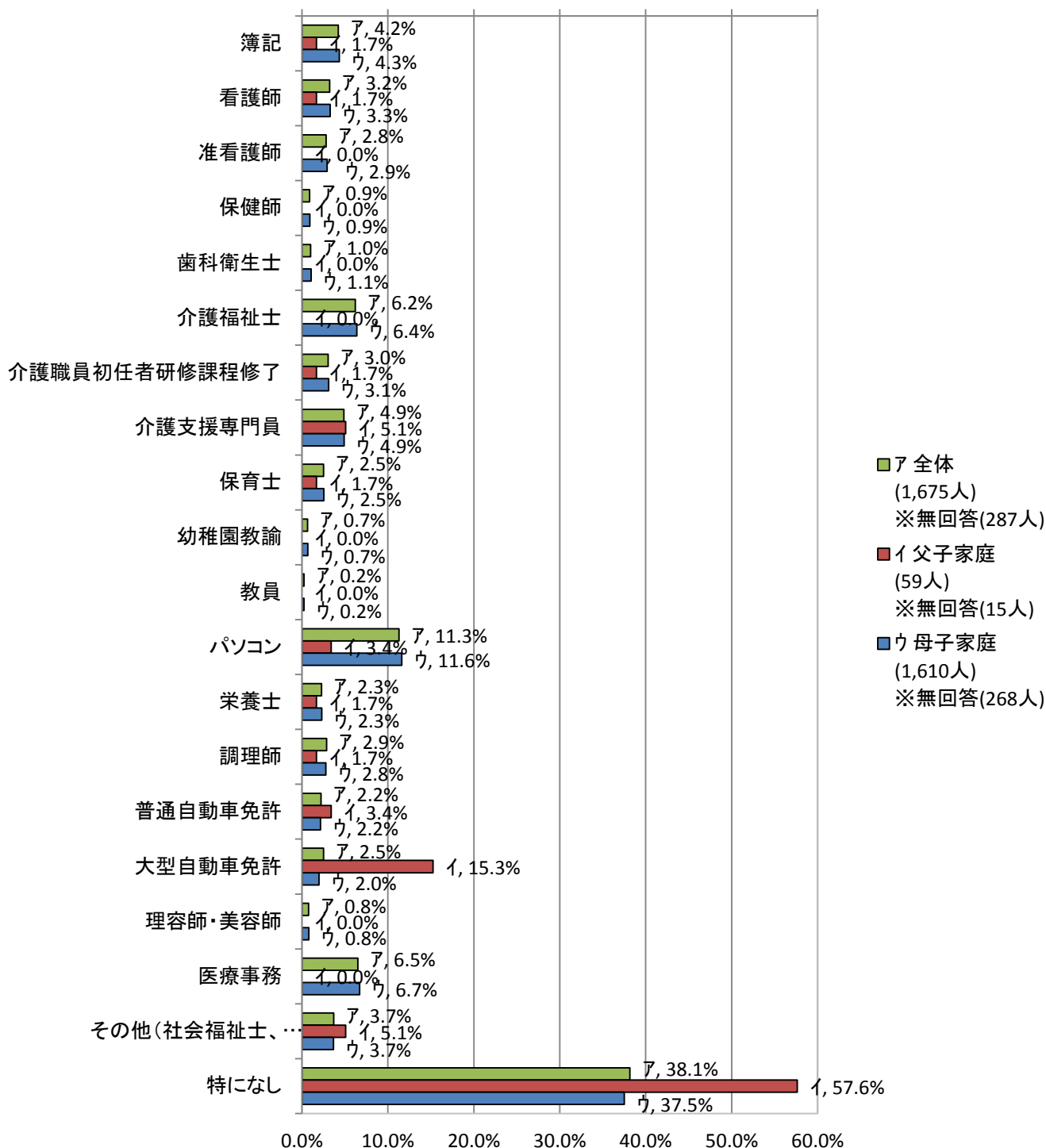
【全 体】	① 普通自動車免許	: 42.4%	② 簿記	: 9.3%	③ 資格なし	: 7.6%
【父子家庭】	① 普通自動車免許	: 49.0%	② 大型自動車免許	: 16.3%	③ その他	: 13.5%
【母子家庭】	① 普通自動車免許	: 42.1%	② 簿記	: 9.6%	③ 資格なし	: 7.7%



問12 あなたが今後取得したい資格をお答えください。(複数回答)

今後取得したい資格は、全体・父子家庭・母子家庭のいずれも「特になし」が最も多い回答となっています。

【全 体】	① 特になし	: 38.1%	② パソコン	: 11.3%	③ 医療事務	: 6.5%
【父子家庭】	① 特になし	: 57.6%	② 大型自動車免許	: 15.3%	③ その他	: 5.1%
【母子家庭】	① 特になし	: 37.5%	② パソコン	: 11.6%	③ 医療事務	: 6.7%

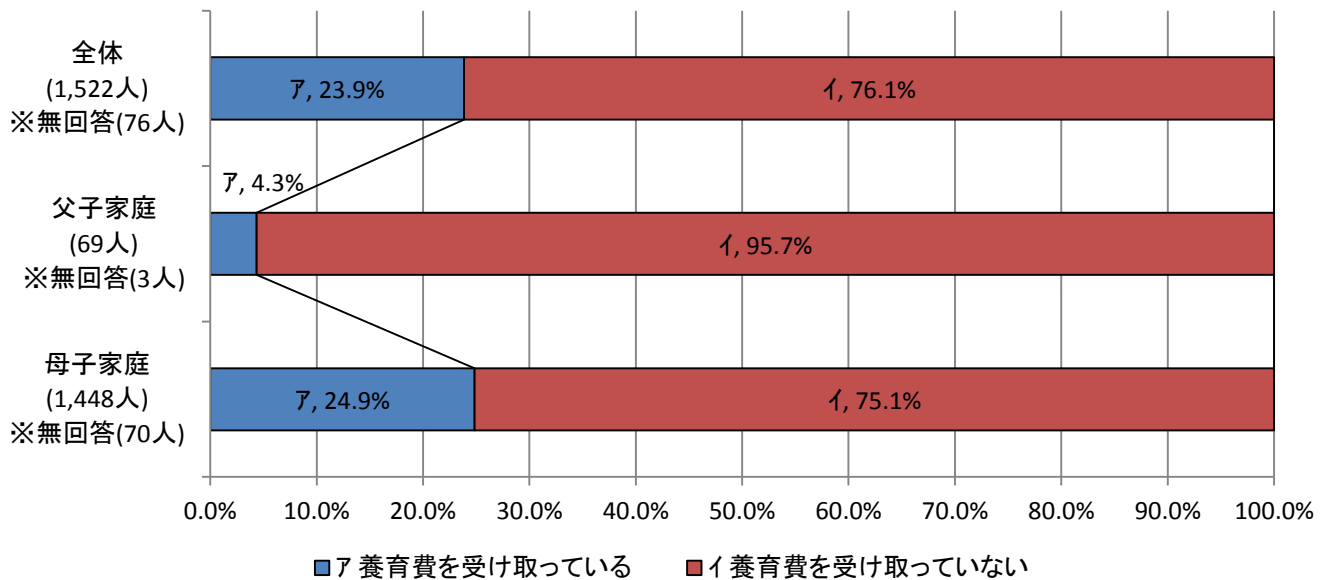


(4) 養育費について

問13 あなたの養育費の受取りについてお答えください。

養育費の受取りは、全体・父子家庭・母子家庭のいずれも「養育費を受け取っていない」が最も多い回答となっています。

- 【全 体】 ① 養育費を受け取っていない : 76.1% ② 養育費を受け取っている : 23.9%
【父子家庭】 ① 養育費を受け取っていない : 95.7% ② 養育費を受け取っている : 4.3%
【母子家庭】 ① 養育費を受け取っていない : 75.1% ② 養育費を受け取っている : 24.9%



問13-1 問13で「1:養育費を受け取っている」と答えた方で、過去1年間にもらった養育費の総額をお答えください。

養育費を受け取っている方の過去1年間にもらった養育費の総額は、全体・父子家庭・母子家庭のいずれも「12万円～36万円未満」が最も多い回答となっています。

【全 体】 ① 12万円～36万円未満 : 38.9%

② 36万円～60万円未満 : 29.6%

③ 12万円未満 : 13.8%

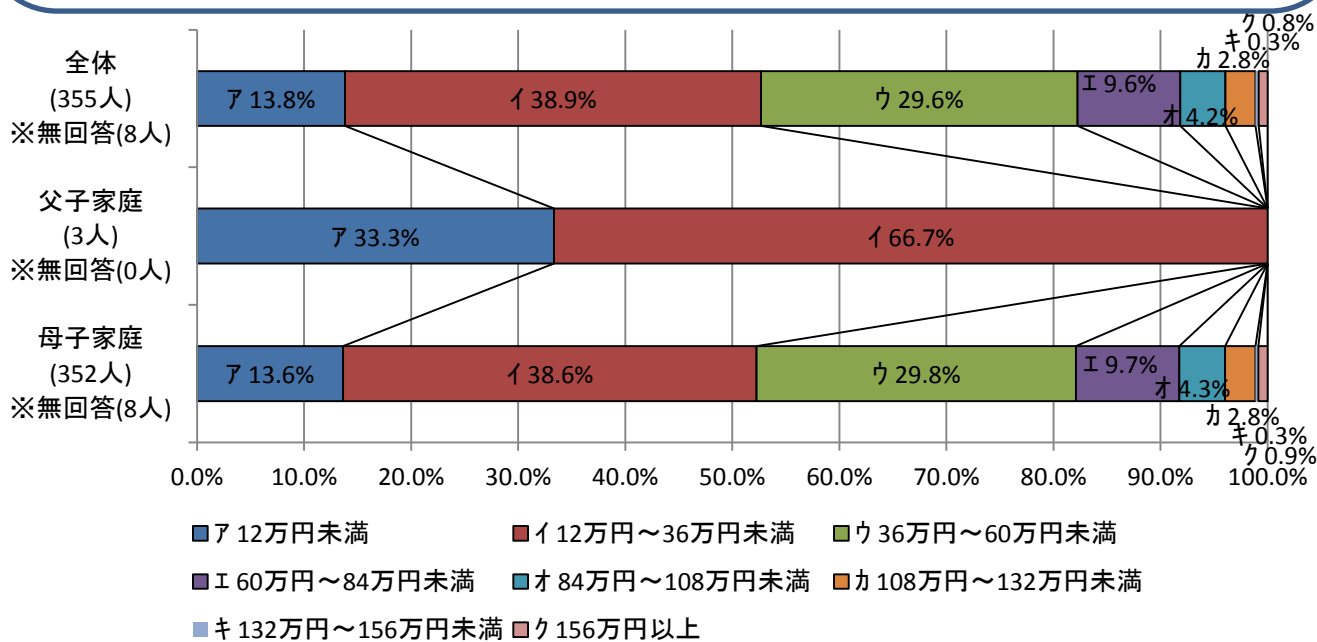
【父子家庭】 ① 12万円～36万円未満 : 66.7%

② 12万円未満 : 33.3%

【母子家庭】 ① 12万円～36万円未満 : 38.6%

② 36万円～60万円未満 : 29.8%

③ 12万円未満 : 13.6%



問13-2 問13で「1:養育費を受け取っている」と答えた方で、養育費の受取りの取り決めについてお答えください。

養育費を受け取っている方の養育費の受取りの取り決めは、全体・父子家庭・母子家庭のいずれも「調停で取り決めている」が最も多い回答となっています。

【全 体】 ① 調停で取り決めている : 42.1%

② 書面で取り決めている : 37.1%

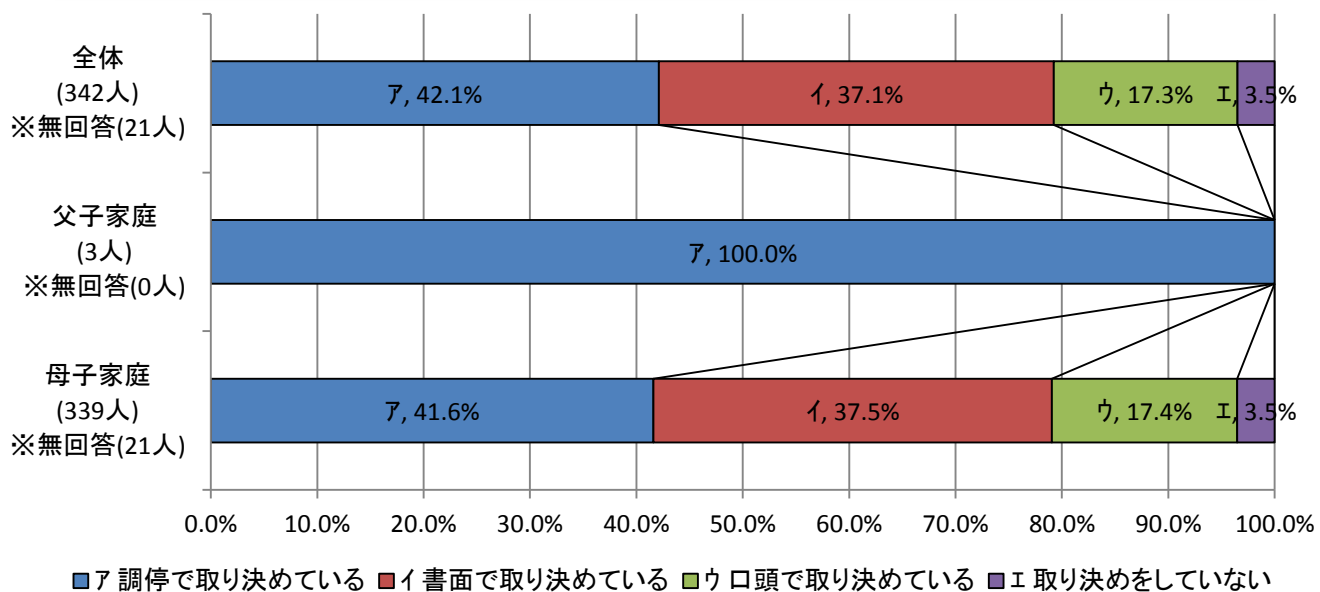
③ 口頭で取り決めている : 17.3%

【父子家庭】 ① 調停で取り決めている : 100.0%

【母子家庭】 ① 調停で取り決めている : 41.6%

② 書面で取り決めている : 37.5%

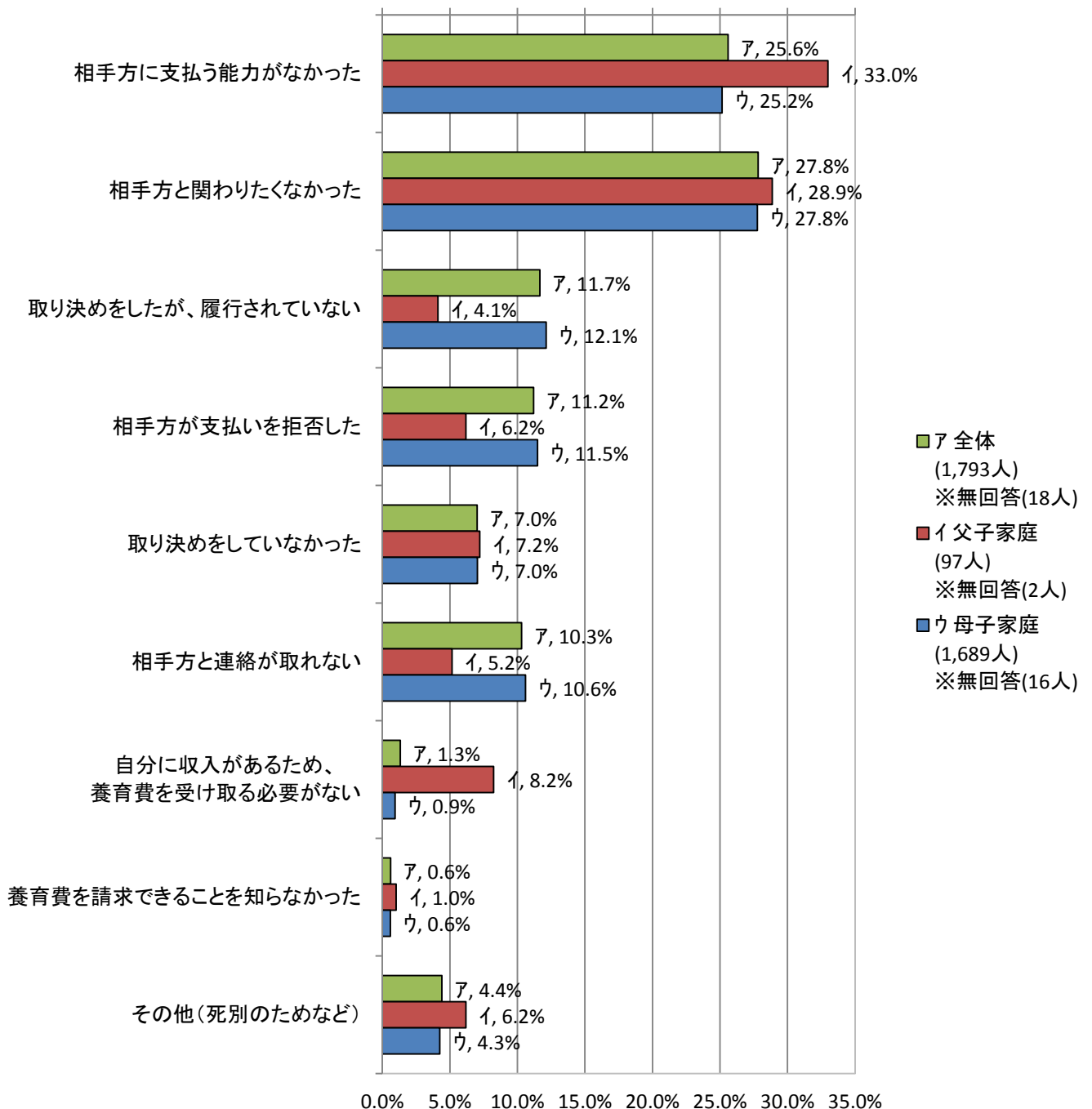
③ 口頭で取り決めている : 17.4%



問13-3 問13で「2:養育費を受け取っていない」と答えた方で、養育費を受け取っていない理由についてお答えください。(複数回答)

養育費を受け取っていない理由は、全体・母子家庭は「相手方と関わりたくなかった」が最も多く、父子家庭では「相手方に支払う能力がなかった」が最も多い回答となっています。

【全 体】	① 相手方と関わりたくなかった	: 27.8%
	② 相手方に支払う能力がなかった	: 25.6%
	③ 取り決めたが、履行されていない	: 11.7%
【父子家庭】	① 相手方に支払う能力がなかった	: 33.0%
	② 相手方と関わりたくなかった	: 28.9%
	③ 自分に収入があるため、養育費を受け取る必要がない	: 8.2%
【母子家庭】	① 相手方と関わりたくなかった	: 27.8%
	② 相手方に支払う能力がなかった	: 25.2%
	③ 取り決めたが、履行されていない	: 12.1%



問14 学校卒業後のお子様の進路についてお答えください。

中学卒業後の進路は、全体・父子家庭・母子家庭のいずれも「高等学校」が最も多い回答になっています。
高校卒業後の進路は、全体・母子家庭は「就職」、父子家庭は「専修学校等」が最も多い回答になっています。

○ 今年3月に中学校を卒業したお子様の進路

【全体】 ① 高等学校 : 87.6% ② 高等専門学校 : 5.2% ③ 就職 : 4.1%

【父子家庭】 ① 高等学校 : 83.3% ② 高等専門学校 : 8.3% ③ 就職 : 8.3%

【母子家庭】 ① 高等学校 : 87.8% ② 高等専門学校 : 5.0% ③ 就職 : 3.9%

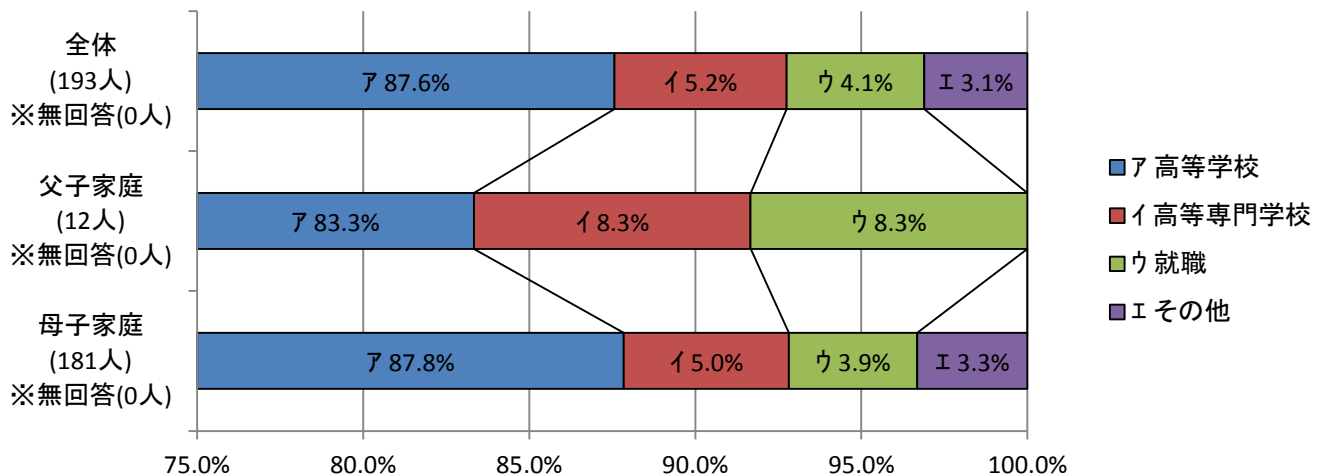
○ 今年3月に高校を卒業したお子様の進路

【全体】 ① 就職 : 40.0% ② 専修学校等 : 25.2% ③ 大学等 : 20.9%

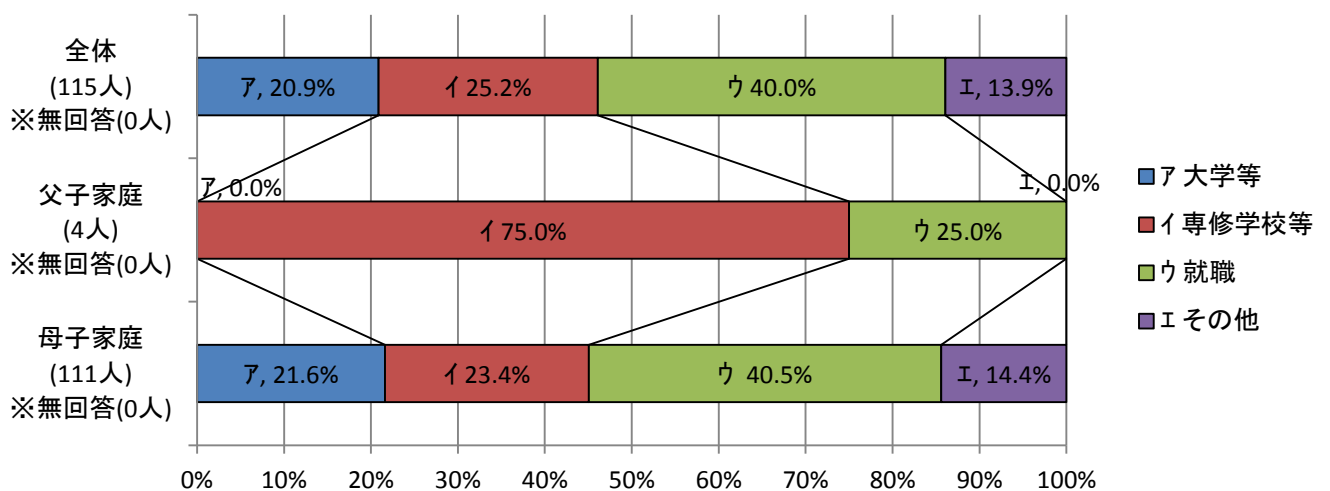
【父子家庭】 ① 専修学校等 : 75.0% ② 就職 : 25.0%

【母子家庭】 ① 就職 : 40.5% ② 専修学校等 : 23.4% ③ 大学等 : 21.6%

今年3月に中学校を卒業したお子様の進路



今年3月に高校を卒業したお子様の進路



※大学等とは、大学及び短期大学

※専修学校等とは、専修学校(一般課程・専門課程)及び各種学校

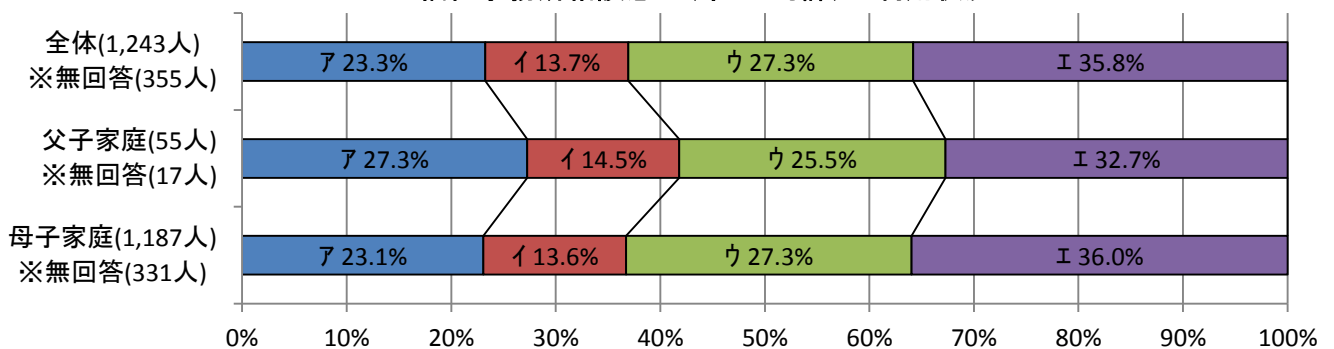
(5) 公的サービス等の利用状況について

医療費助成と就学援助費は、「利用したことがある」が比較的高い割合になっています。それ以外のサービスの多くは、「知らない」が高い割合になっています。

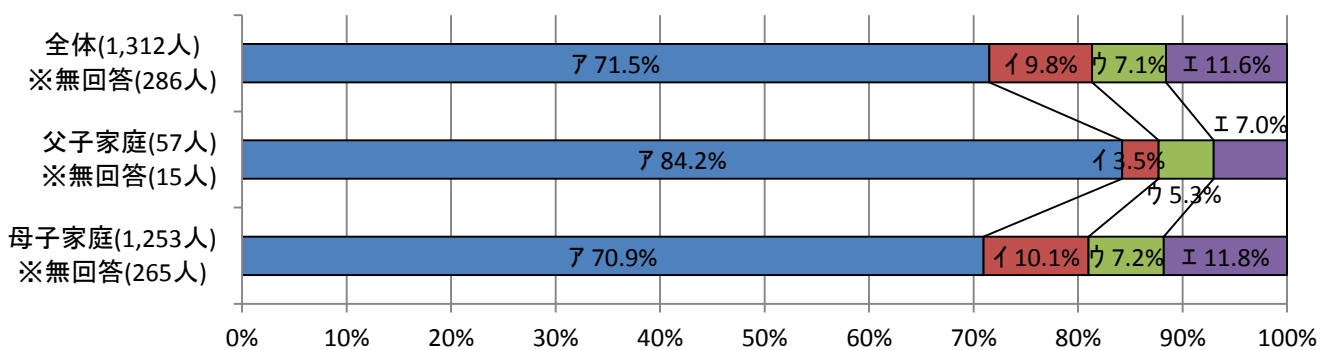
問15-1 公的サービス等の利用状況についてお答えください。

■ア 利用したことがある ■イ 今は利用していないが、今後利用したい ■ウ 利用する必要がない ■エ 知らない

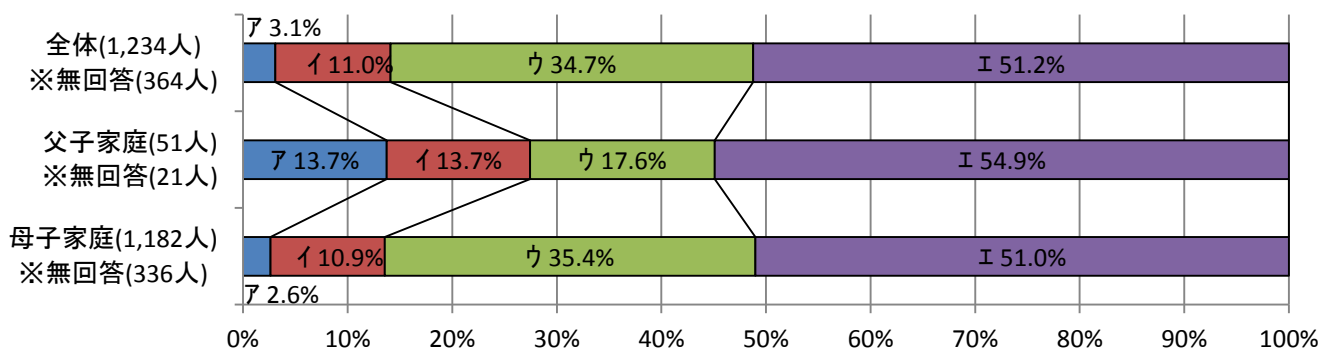
福祉事務所相談窓口(市こども課)の利用状況



ひとり親家庭等医療費助成の利用状況

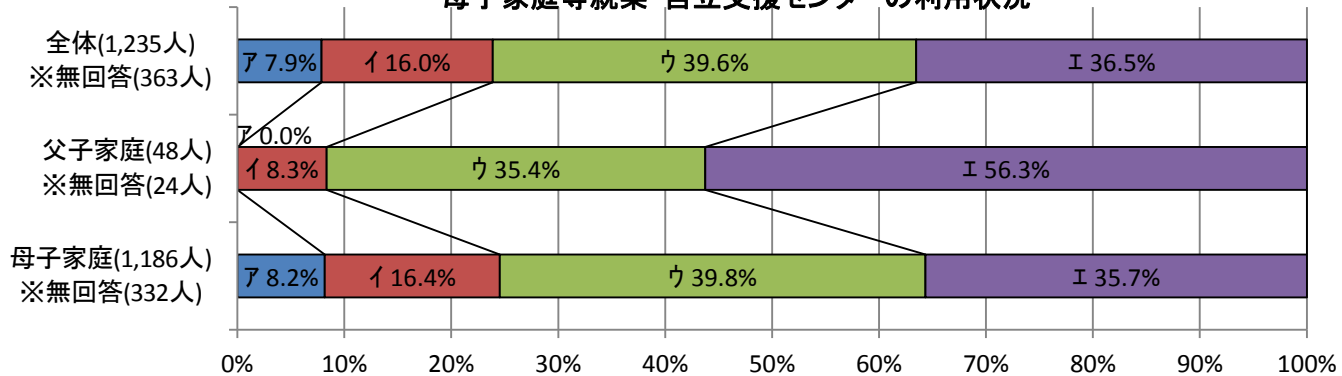


ひとり親家庭等日常生活支援事業の利用状況

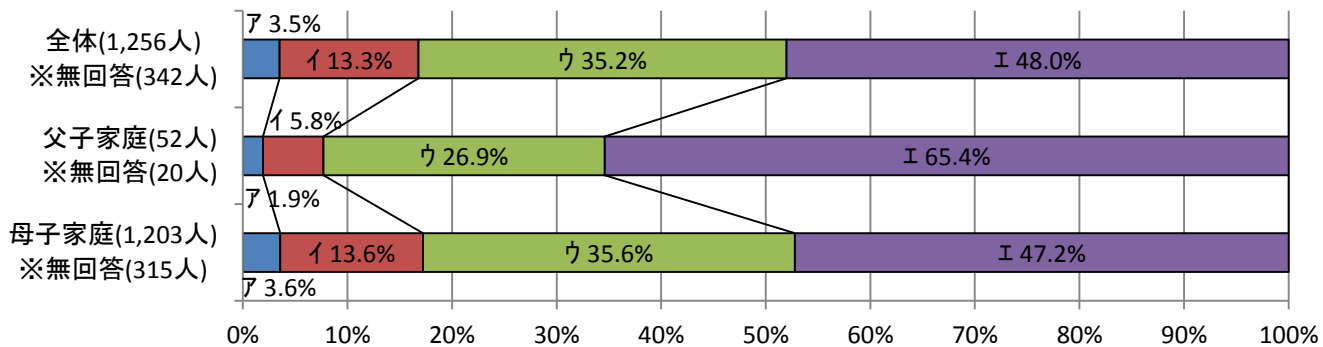


■ア 利用したことがある ■イ 今は利用していないが、今後利用したい ■ウ 利用する必要がない ■エ 知らない

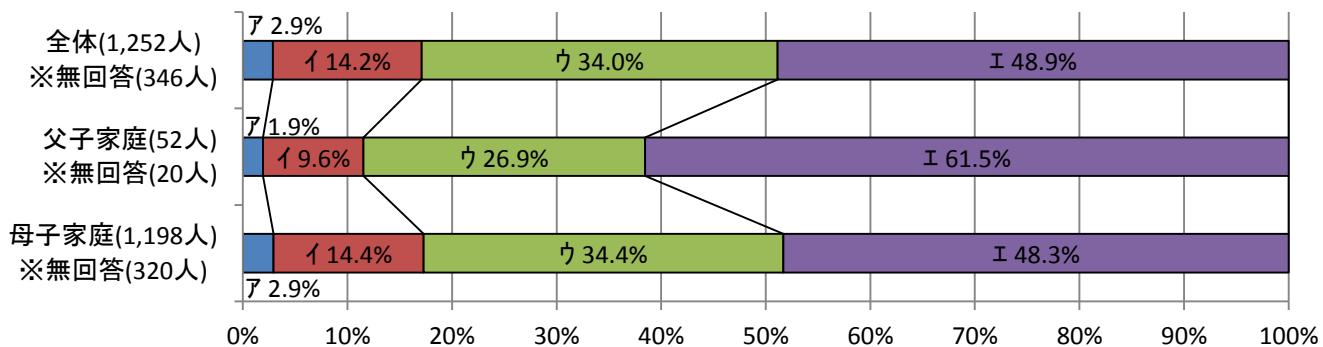
母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況



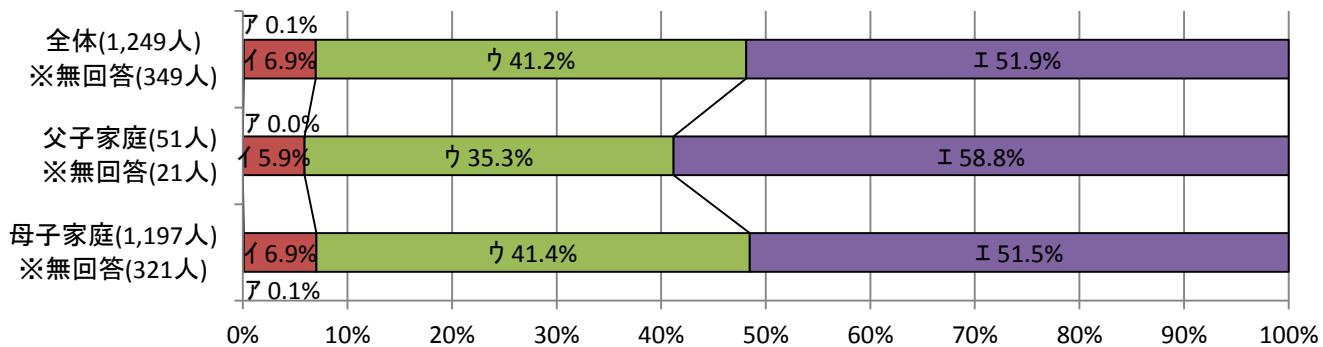
高等職業訓練促進給付金事業の利用状況



自立支援教育訓練給付金事業の利用状況

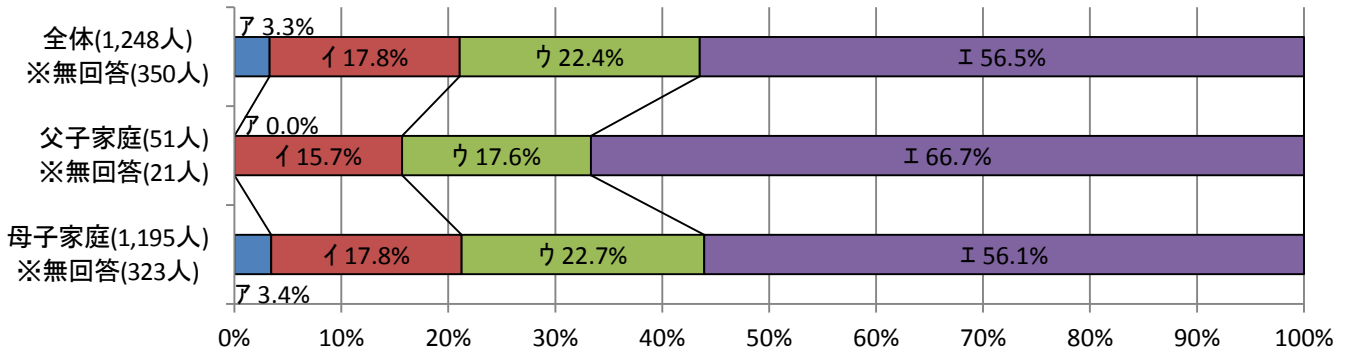


高等学校卒業程度認定試験合格支援事業の利用状況

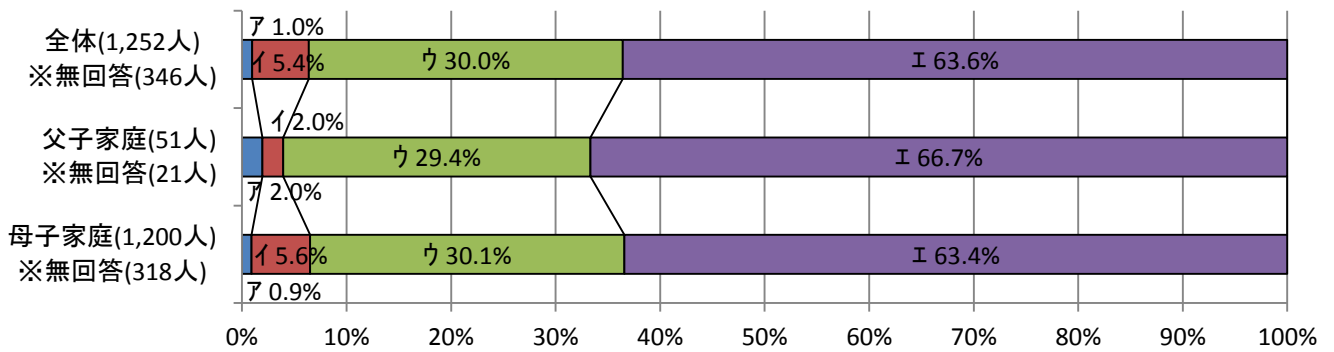


ア 利用したことがある イ 今は利用していないが、今後利用したい ウ 利用する必要がない エ 知らない

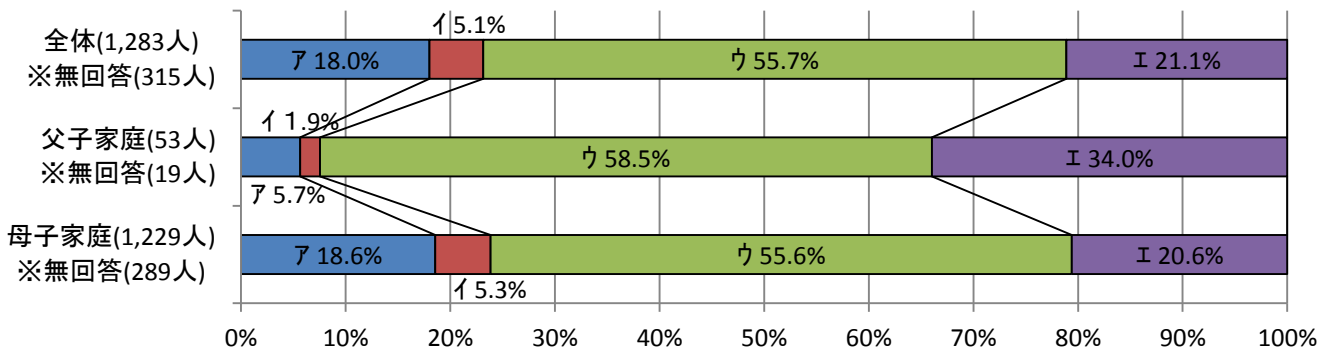
母子・父子・寡婦福祉資金貸付金制度の利用状況



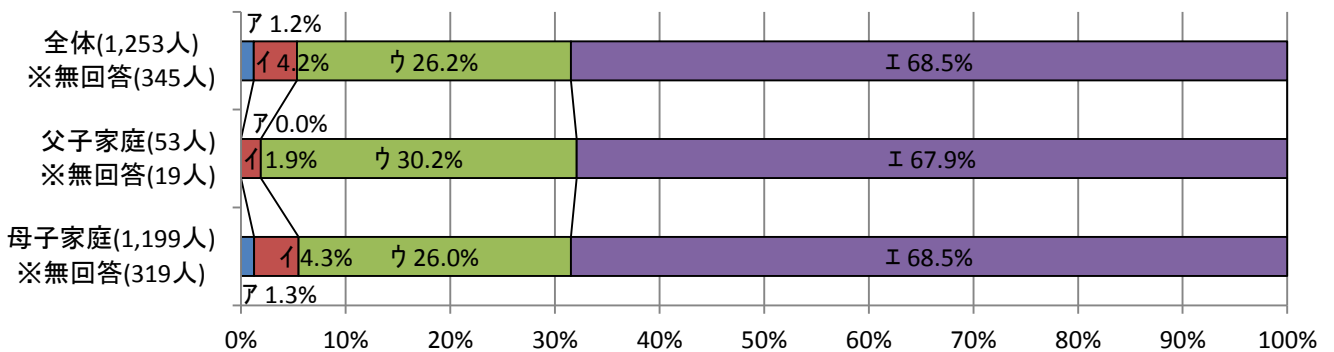
帯広市自立相談支援センター ふらっとの利用状況



生活保護の相談(市保護課)の利用状況

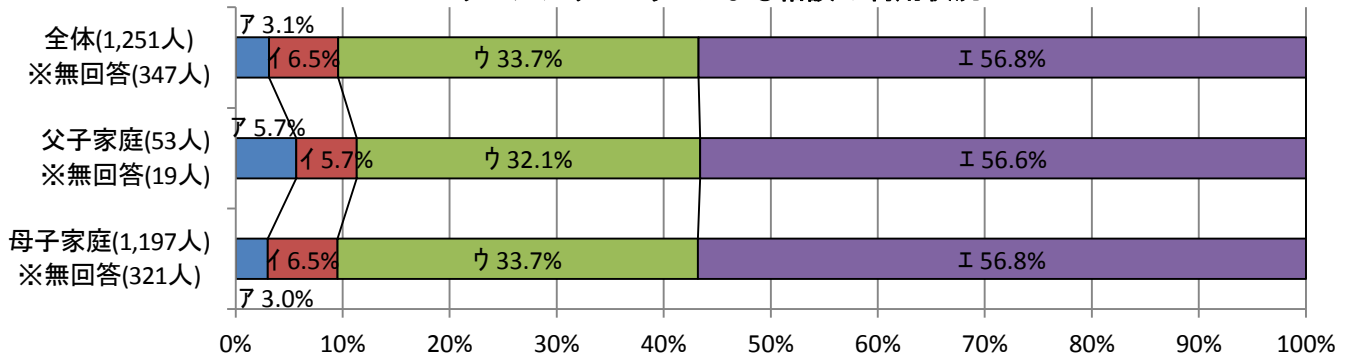


お助けネット(帯広市つくし会)の利用状況

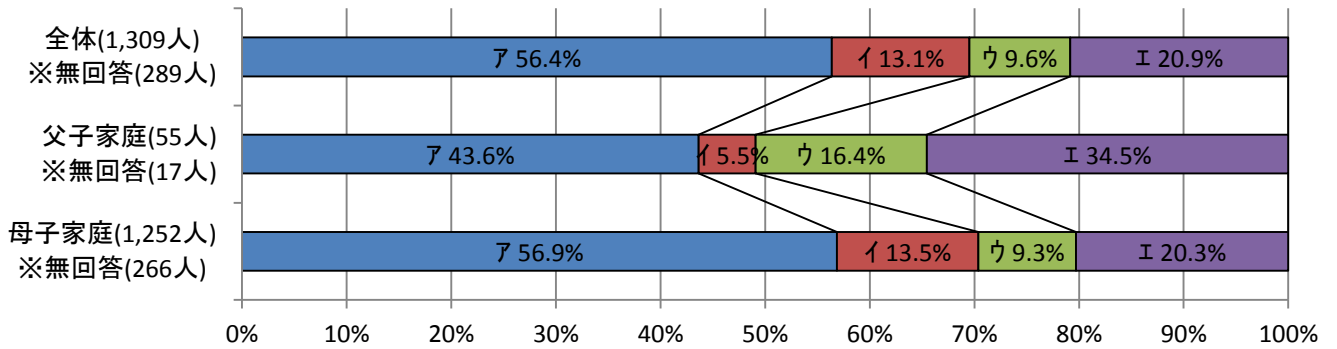


■ア 利用したことがある ■イ 今は利用していないが、今後利用したい ■ウ 利用する必要がない ■エ 知らない

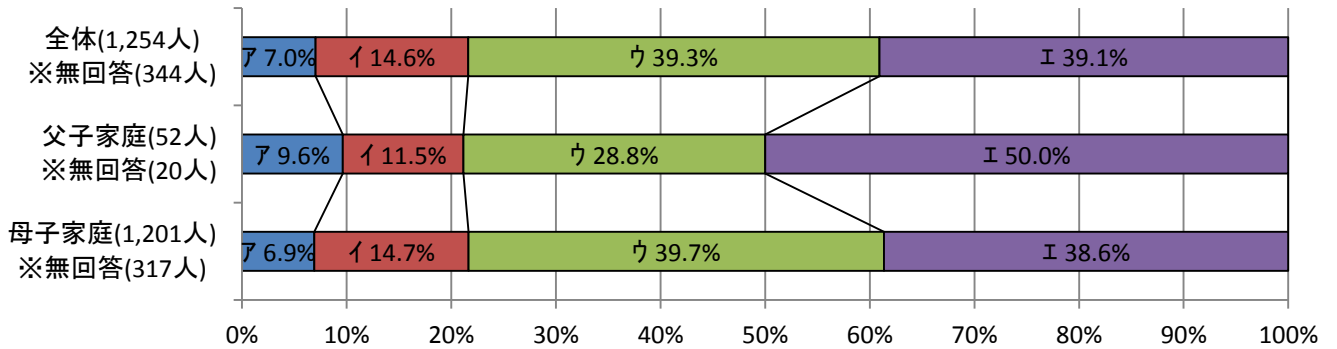
スクールカウンセラーによる相談の利用状況



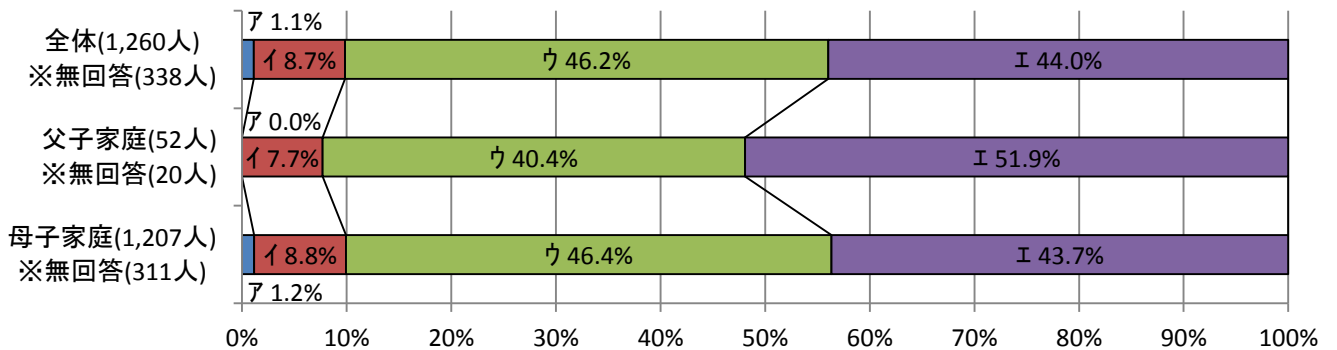
就学援助費(市学校教育課)の利用状況



子どもに関する相談(市子育て支援課)の利用状況

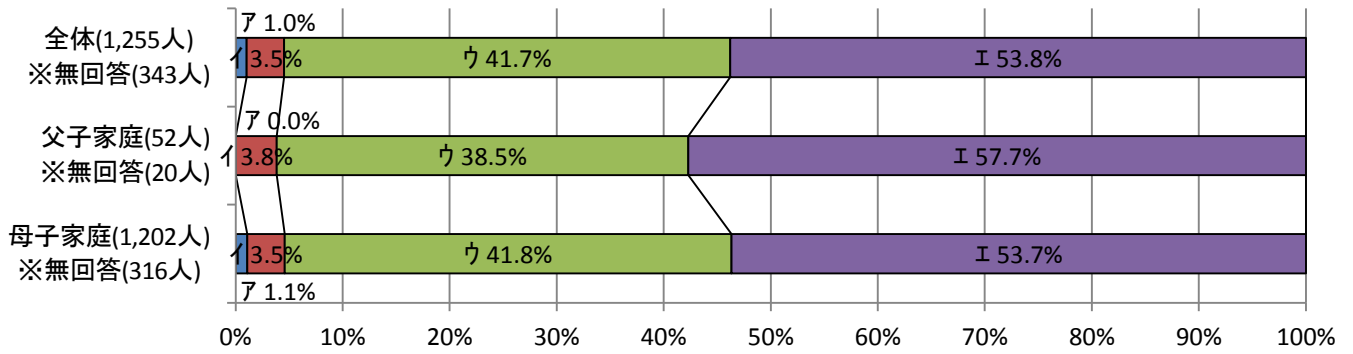


テレフォン相談の利用状況

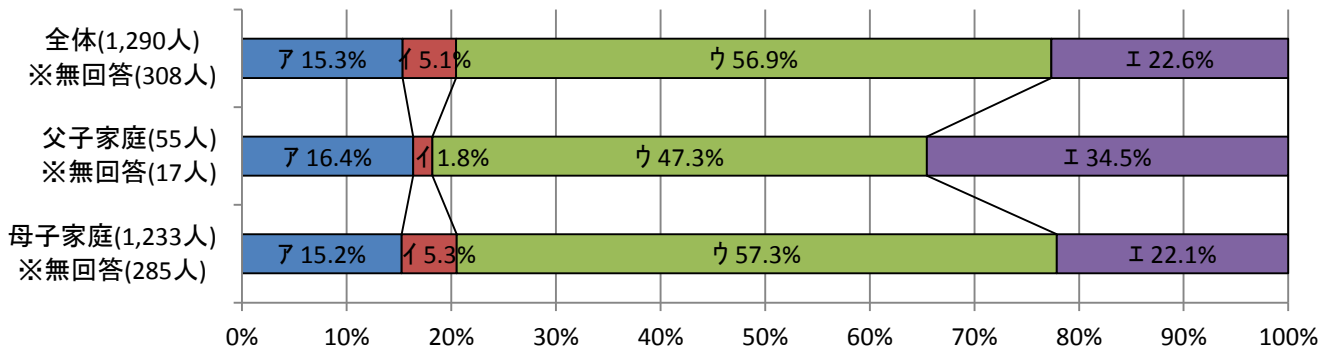


■ア 利用したことがある ■イ 今は利用していないが、今後利用したい ■ウ 利用する必要がない ■エ 知らない

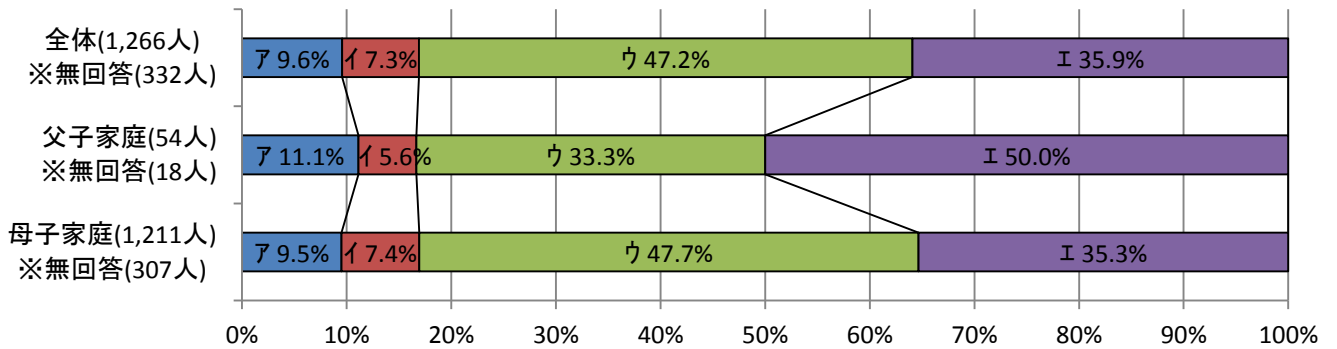
子育て短期支援事業(ショートステイ)の利用状況



帯広児童相談所の利用状況



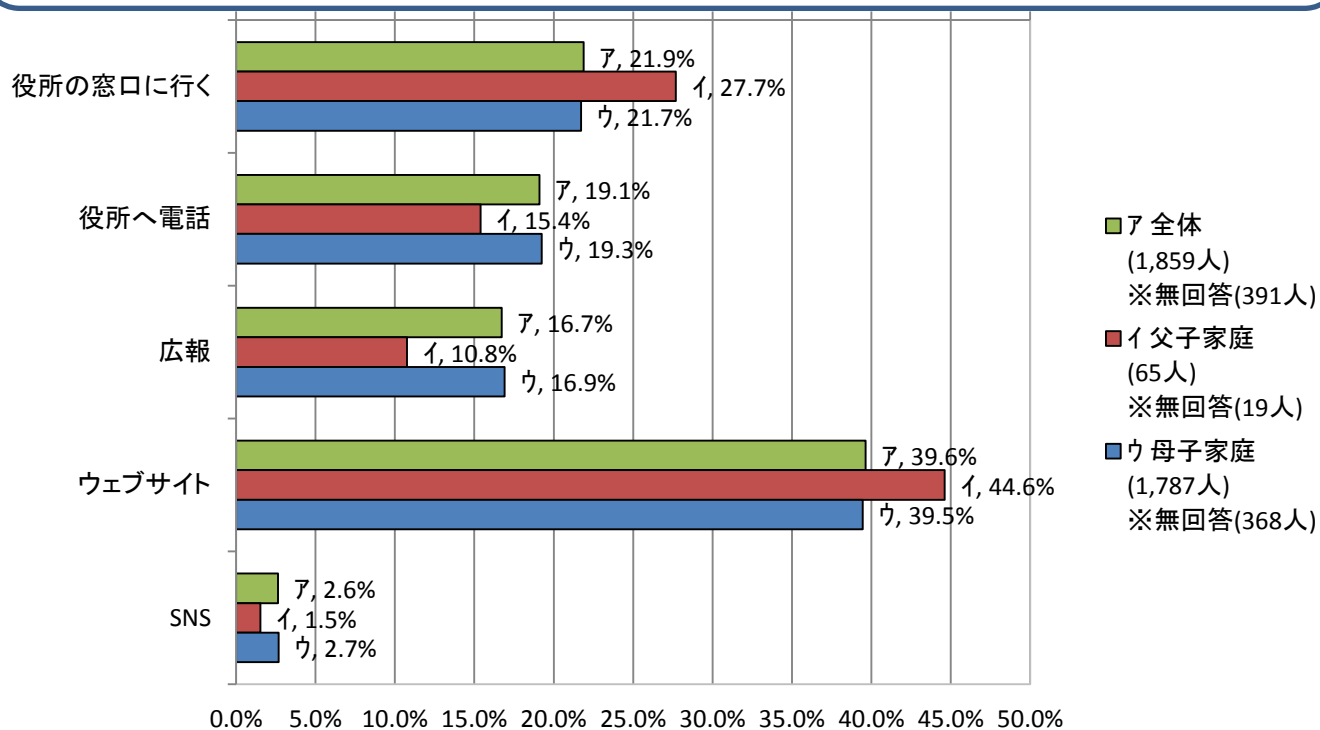
市の市民相談室の利用状況



問16 市や北海道で行っている制度を調べる方法として、主なものをお答えください。
(複数回答)

市や北海道で行っている制度を調べる方法は、全体・父子家庭・母子家庭のいずれも「ウェブサイト」が最も多く、4割を占めています。

- 【全 体】 ① ウェブサイト : 39.6% ② 役所の窓口に行く : 21.9% ③ 役所へ電話 : 19.1%
 【父子家庭】 ① ウェブサイト : 44.6% ② 役所の窓口に行く : 27.7% ③ 役所へ電話 : 15.4%
 【母子家庭】 ① ウェブサイト : 39.5% ② 役所の窓口に行く : 21.7% ③ 役所へ電話 : 19.3%

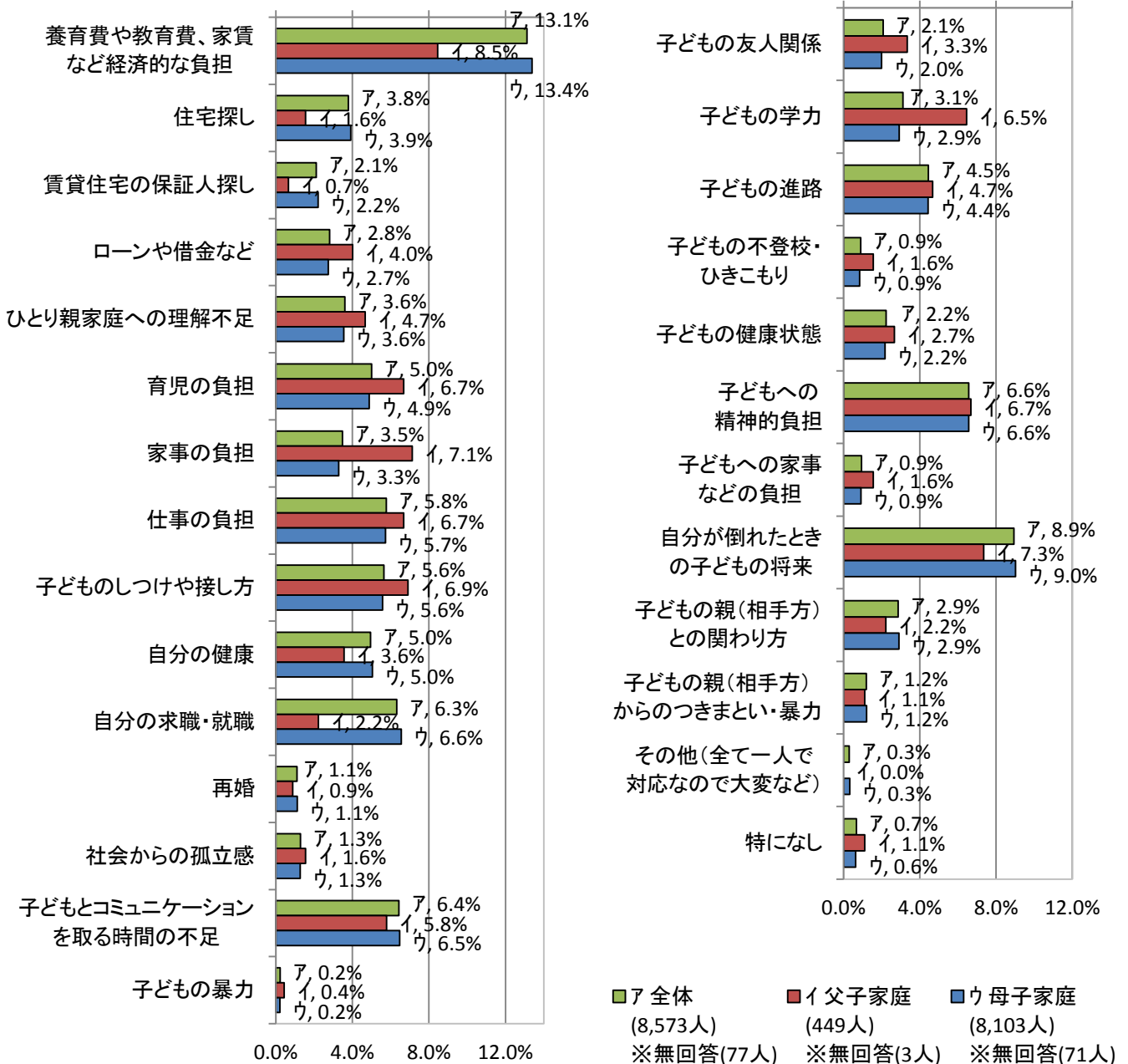


(6) 日常生活の悩みや困りごとについて

問17 ひとり親になった当時のあなた自身や子どもに関する心配や悩みをお答えください。(複数回答)

ひとり親になった当時の心配や悩みでは、全体・父子家庭・母子家庭のいずれも「養育費や教育費、家賃など経済的な負担」が最も高い割合を占めています。

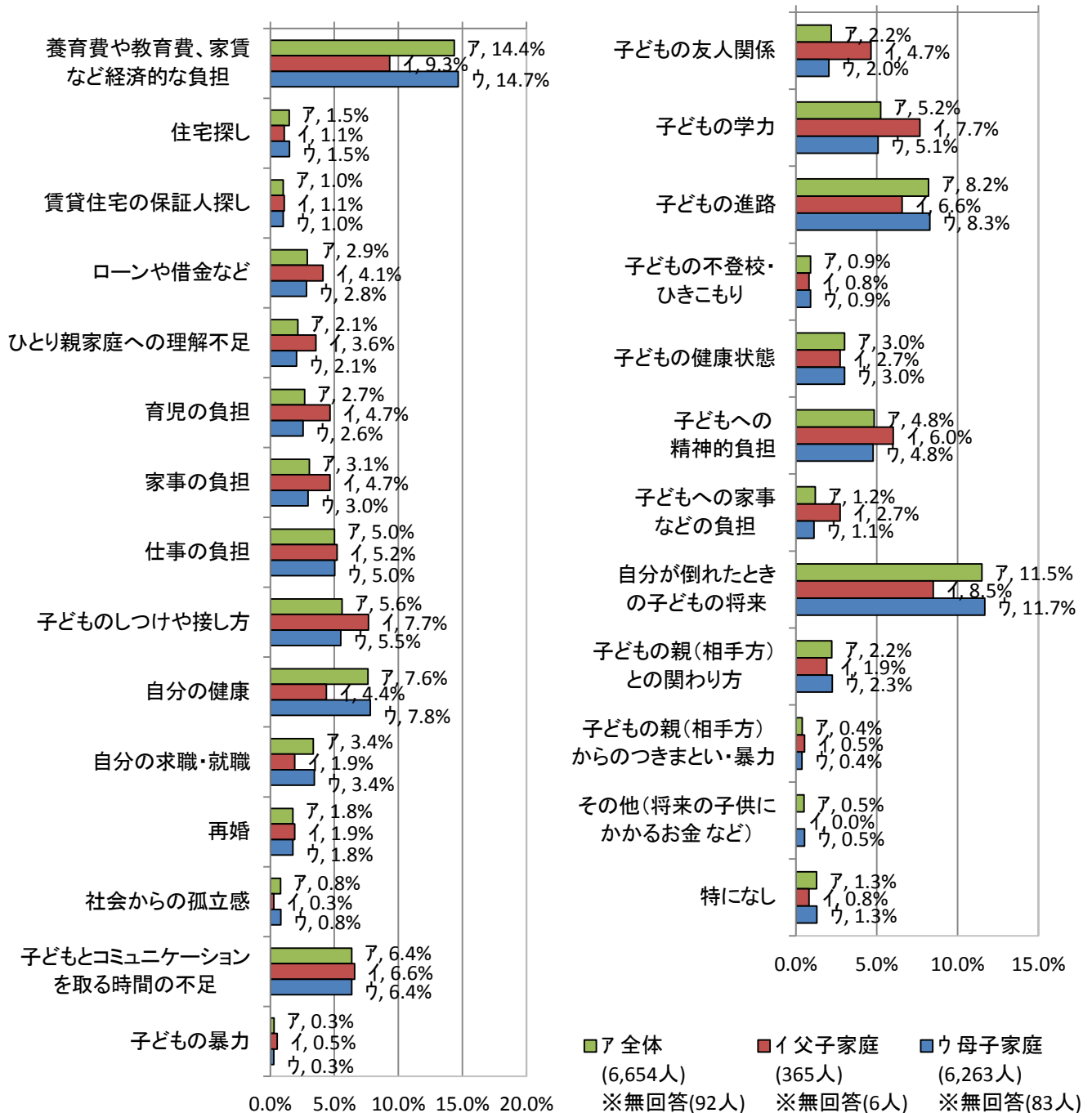
- | | | |
|--------|----------------------|---------|
| 【全 体】 | ① 養育費や教育費、家賃など経済的な負担 | : 13.1% |
| | ② 自分が倒れたときの子どもの将来 | : 8.9% |
| | ③ 子どもへの精神的負担 | : 6.6% |
| 【父子家庭】 | ① 養育費や教育費、家賃など経済的な負担 | : 8.5% |
| | ② 自分が倒れたときの子どもの将来 | : 7.3% |
| | ③ 家事の負担 | : 7.1% |
| 【母子家庭】 | ① 養育費や教育費、家賃など経済的な負担 | : 13.4% |
| | ② 自分が倒れたときの子どもの将来 | : 9.0% |
| | ③ 子どもへの精神的負担 | : 6.6% |



問18 現在のあなた自身や子どもに関する心配や悩みをお答えください。(複数回答)

現在の心配や悩みでは、全体・父子家庭・母子家庭のいずれも「養育費や教育費、家賃など経済的な負担」が最も高い割合を占めています。

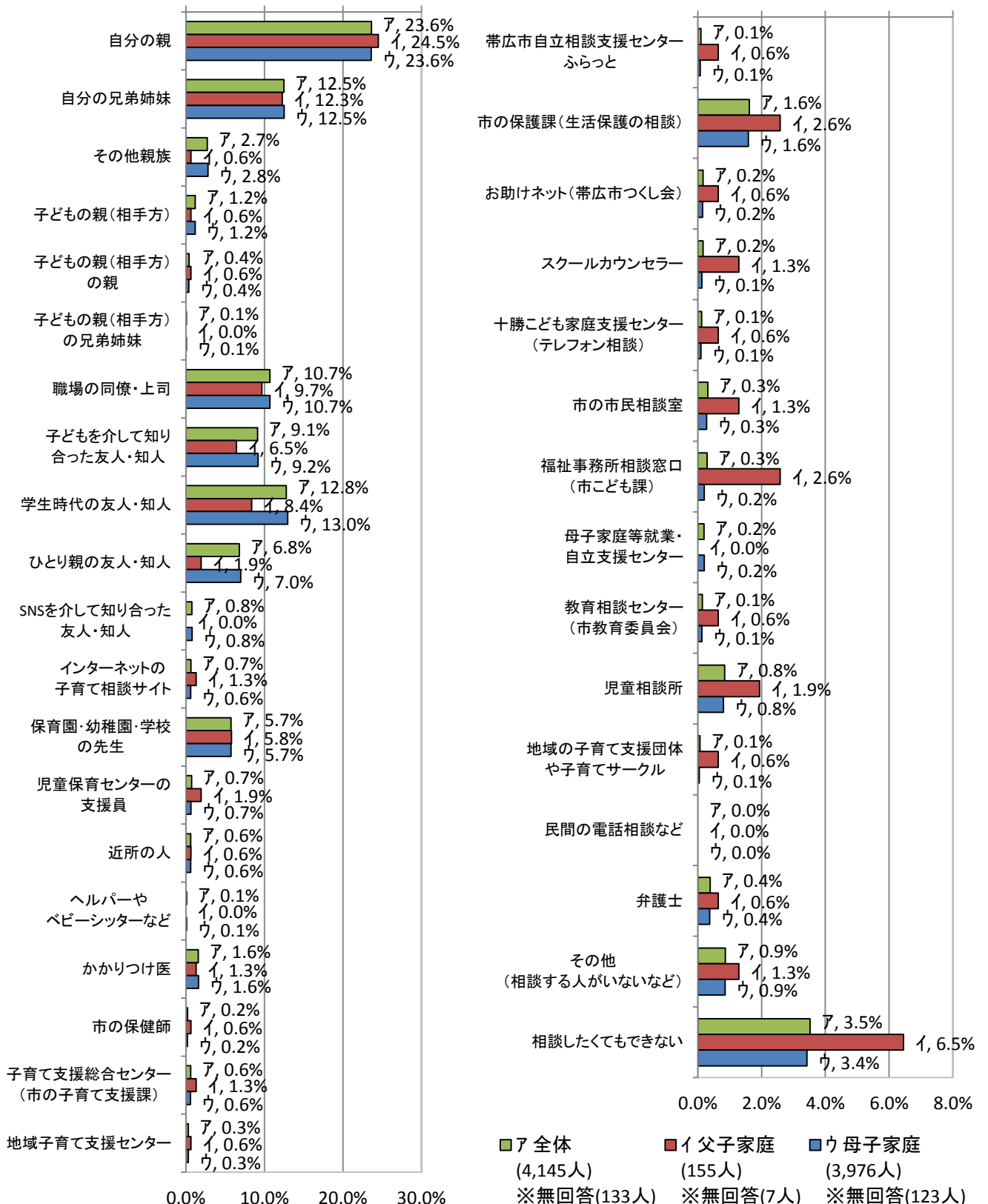
- 【全 体】 ① 養育費や教育費、家賃など経済的な負担 : 14.4%
 ② 自分が倒れたときの子どもの将来 : 11.5%
 ③ 子どもの進路 : 8.2%
- 【父子家庭】 ① 養育費や教育費、家賃など経済的な負担 : 9.3%
 ② 自分が倒れたときの子どもの将来 : 8.5%
 ③ 子どものしつけや接し方 : 7.7%
 ④ 子どもの学力 : 7.7%
- 【母子家庭】 ① 養育費や教育費、家賃など経済的な負担 : 14.7%
 ② 自分が倒れたときの子どもの将来 : 11.7%
 ③ 子どもの進路 : 8.3%



問19 子どもやあなた自身のことで心配や悩みがあるときの相談先をお答えください。 (複数回答)

心配や悩みがあるときの相談先は、全体・父子家庭・母子家庭のいずれも「自分の親」が最も高い割合を占めています。

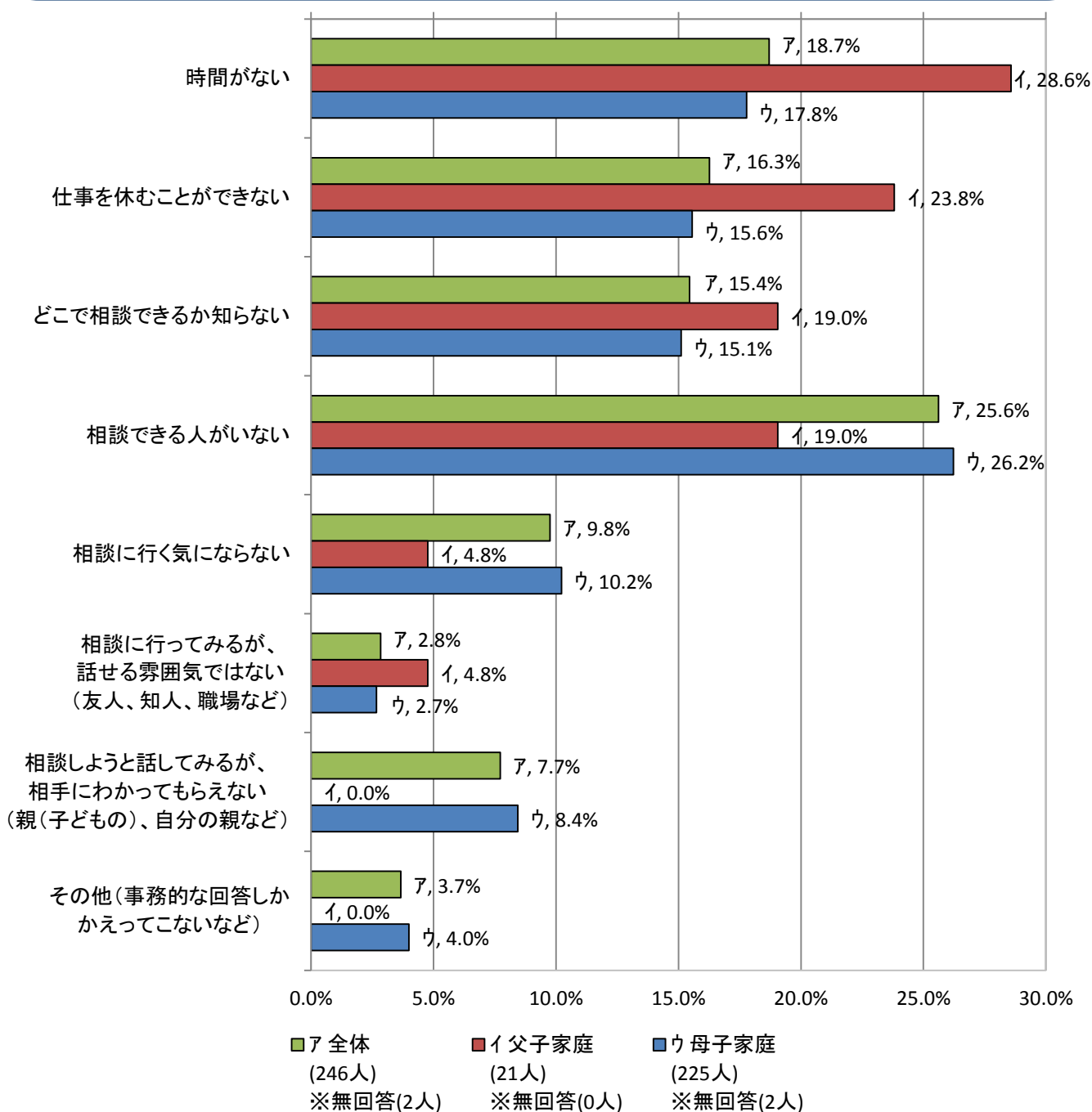
- 【全体】① 自分の親 : 23.6% ② 学生時代の友人・知人 : 12.8% ③ 自分の兄弟姉妹 : 12.5%
 【父子家庭】① 自分の親 : 24.5% ② 自分の兄弟姉妹 : 12.3% ③ 職場の同僚・上司 : 9.7%
 【母子家庭】① 自分の親 : 23.6% ② 学生時代の友人・知人 : 13.0% ③ 自分の兄弟姉妹 : 12.5%



問19-1 問19で「35:相談したくてもできない」と答えた方、相談したくてもできない理由をお答えください。(複数回答)

問19で「相談したくてもできない」と答えた方のその理由は、全体・母子家庭では「相談できる人がいない」が最も多く、父子家庭では「時間がない」が最も多い回答となっています。

- 【全 体】 ① 相談できる人がいない : 25.6%
 ② 時間がない : 18.7%
 ③ 仕事を休むことができない : 16.3%
- 【父子家庭】 ① 時間がない : 28.6%
 ② 仕事を休むことができない : 23.8%
 ③ どこで相談できるか知らない : 19.0%
 ④ 相談できる人がいない : 19.0%
- 【母子家庭】 ① 相談できる人がいない : 26.2%
 ② 時間がない : 17.8%
 ③ 仕事を休むことができない : 15.6%



3 アンケート結果のまとめ

※（ ）内の数値は「平成23年度全国母子世帯等調査の結果」（厚生労働省 実施）

項目		全体 (1,598 件)	母子家庭 (1,518 件)	父子家庭 (72 件)
ひとり親家庭等の状況・生活		100%	95.2%	4.5%
親の年代（30・40代）		81.3%	81.4%	83.4%
ひとり親になった理由（離婚）		89.7(79.2)%	90.0(80.8)%	87.5(74.3)%
ひとり親になった理由（死別）		1.0(9.8)%	0.8(7.5)%	5.6(16.8)%
経済状況（1か月の収入）		10万円～15万円 未満 39.8%	10万円～15万円 未満 41.1%	20万円以上 38.5%
仕事				
ひとり親 家庭とな る前	就業率	63.5(80.1)%	61.8(74.4)%	95.8(97.1)%
	就業形態（正社員・正規職員）	28.1(43.0)%	24.2(29.5)%	77.9(73.6)%
	就業形態（臨時・パート）	57.5(38.1)%	61.9(52.9)%	2.9(4.5)%
現在	就業率	87.4(86.9)%	87.3(84.3)%	90.0(94.5)%
	就業形態（正社員・正規職員）	37.5(47.1)%	35.7(39.4)%	73.8(67.2)%
	就業形態（臨時・パート）	45.2(36.4)%	47.2(47.4)%	4.9(8.0)%
	転職希望の割合	29.8(30.4)%	29.8(32.7)%	29.1(24.7)%
	転職したい理由（収入が良くない）	54.9(51.5)%	54.4(52.6)%	68.8(47.6)%
養育費				
養育費を受け取っている		23.9(16.6)%	24.9(20.5)%	4.3(4.2)%
養育費受取りの取り決め(文書)		82.1(69.4)%	82.0(70.7)%	100.0(60.3)%
養育費受取りの取り決め(口頭)		17.9(29.0)%	18.0(27.7)%	0.0(38.4)%
公的サービス等の利用状況				
福祉事務所相談窓口（市こども課）		利用したことがある 23.3%、今後利用したい 13.7%、知らない 35.8%		
ひとり親家庭等医療費助成		利用したことがある 71.5%、今後利用したい 9.8%、知らない 11.6%		
ひとり親家庭等日常生活支援事業		利用したことがある 3.1%、今後利用したい 11.0%、知らない 51.2%		
高等職業訓練促進給付金事業		利用したことがある 3.5%、今後利用したい 13.3%、知らない 48.0%		
自立支援教育訓練給付金事業		利用したことがある 2.9%、今後利用したい 14.2%、知らない 48.9%		
高等学校卒業程度認定試験合格支援事業		利用したことがある 0.1%、今後利用したい 6.9%、知らない 51.9%		
母子・父子・寡婦福祉資金貸付金		利用したことがある 3.3%、今後利用したい 17.8%、知らない 56.5%		
日常生活の悩みや困りごと				
自身や子どもに関する心配や悩み		養育費や教育費、家賃など経済的な負担 13.1% 自分が倒れたときの子どもの将来 8.9%		
相談先		自分の親 23.6% 学生時代の友人・知人 12.8% 自分の兄弟姉妹 12.5%		

(1) 母子家庭の状況

① 家庭の状況・生活について

- 今回のアンケートで回答をいただいたひとり親家庭の 95.2%が、「母子家庭」であり、年齢構成は、30代と40代で81.4%を占めています。ひとり親となった理由の90.0%が離婚であり、父子家庭に比べて高い割合となっています。

平成23年度全国母子世帯等調査の結果（以下、「国調査」という）では、「離婚」が80.8%を占めていることから、本市では「離婚」の割合が高い状況にあります。

② 経済状況について

- 養育費を含む収入の月額額は、10万円～15万円未満が41.1%と最も高い割合を占めており、父子家庭に比べて収入が少ないことが分かります。

③ 仕事について

- ひとり親家庭となる前の就業率は61.8%となっており、国調査の74.4%に比べ低い割合となっています。

就業形態としては、「正社員・正規職員」が24.2%となっており、国調査の29.5%に比べ低くなっています。また、「臨時・パート」が61.9%となっており、国調査の52.9%に比べ高くなっています。このことから、本市では「臨時・パート」の割合が高く、「正社員・正規職員」の割合が低い状況にあります。

- 現在の就業率は87.3%となっており、ひとり親家庭となる前と比較すると就業率が25.5ポイント上がっています。同様に、国調査でも就業率が84.3%となっており、ひとり親家庭となる前と比較すると9.9ポイント上がっています。母子家庭では、本市も国調査も、ひとり親家庭となってから就業率が上がっている状況にあります。

就業形態としては、「正社員・正規職員」は、本市で35.7%、国調査で39.4%となっており、本市は「正社員・正規職員」の割合が若干低い状況にあります。

④ 養育費について

- 「養育費を受け取っている」方が24.9%を占めており、国調査の20.5%と比べると高い割合となっていますが、4人に3人は養育費を受け取っていない状況にあります。また、養育費を受け取ってはいなくても、調停や書面での取り決めではなく口頭での取り決めによる方も18.0%いる状況にあります。

(2) 父子家庭の状況

① 家庭の状況・生活について

- 今回のアンケートで回答をいただいたひとり親家庭の 4.5%が、「父子家庭」であり、年齢構成は、30代と40代で83.4%を占めています。ひとり親となった理由の87.5%が離婚であり、母子家庭に比べて低い割合となっています。国調査では、「離婚」が74.3%を占めていることから、本市では「離婚」の割合が高い状況にあります。

② 経済状況について

- 養育費を含む収入の月額額は、20万円以上が38.5%と最も高い割合を占めており、母子家庭に比べて収入が多いことが分かります。

③ 仕事について

- ひとり親家庭となる前の就業率は95.8%となっており、国調査の97.1%に比べ、低い割合となっています。

就業形態としては、「正社員・正規職員」が77.9%となっており、国調査の73.6%に比べ高くなっています。また、「臨時・パート」が2.9%となっており、国調査の4.5%に比べ低くなっています。このことから、本市では「臨時・パート」の割合が低く、「正社員・正規職員」の割合が高い状況にあります。

- 現在の就業率は90.0%となっており、ひとり親家庭となる前と比較すると就業率が5.8ポイント下がっています。同様に、国調査でも、就業率が94.5%となっており、ひとり親家庭となる前と比較すると2.6ポイント下がっています。父子家庭では、本市も国調査もひとり親家庭となってから就業率が下がっている状況にあります。

就業形態としては、「正社員・正規職員」は、本市で73.8%、国調査で67.2%となっており、本市は「正社員・正規職員」の割合が高い状況にあります。

④ 養育費について

- 「養育費を受け取っている」方が4.3%、国調査でも4.2%となっており、ほぼ同じ割合となっています。養育費の取り決めについては、100%文書で取り決めている状況にあります。

4 アンケート用紙

ひとり親家庭等アンケートのお願い

このアンケートは、ひとり親家庭等の生活実態などを把握^{はあく}することで、今後の本市の取組みの参考とさせていただきますためのものです。

大変お手数をお掛けしますが、児童扶養手当の現況届と一緒にご提出くださいますようお願いいたします。

※ご回答いただいたアンケートの内容は、上記目的以外に使用することはありません。

ご記入に当たってのお願い

- ①本アンケートは、お子様ではなく、児童扶養手当の受給者ご本人がご記入ください
- ②回答は、特に指定が無いかぎり、平成28年8月1日現在の状況でご記入ください
- ③設問によって、“その他”を選択された場合、()内になるべく具体的な内容をご記入ください

☆**児童扶養手当の現況届の窓口は大変混雑することが予想されますので、アンケートは事前にご記入いただき、窓口にてご提出いただきますよう、ご協力をお願いいたします。**

本アンケートに関するお問い合わせ先

帯広市 こども未来部 こども課 手当・医療給付係 電話 (0155) 65-4160

問1) あなた(受給者、以下同じ)の世帯の状況をお答えください。(いずれか1つを○で囲む)

- 1: 母子家庭 2: 父子家庭 3: その他(父母にかわり子どもを養育している家庭)

問2) あなたの年齢をお答えください。(いずれか1つを○で囲む)

- 1: 10代 2: 20代 3: 30代 4: 40代 5: 50代以上

問3) あなたの最終学歴をお答えください。(いずれか1つを○で囲む)

- 1: 中学校 2: 高等学校(高等専門学校含む) 3: 短期大学・大学
4: 専修学校(一般課程・専門課程)・各種学校 5: その他()

問4) あなたがひとり親になった理由をお答えください。(いずれか1つを○で囲む)

- 1: 死別 2: 離婚 3: 遺棄・行方不明 4: 未婚 5: その他

問5) あなたがひとり親になってからの年数をお答えください。(いずれか1つを○で囲む)

- 1: 1年未満 2: 1年～2年未満 3: 2年～3年未満 4: 3年～4年未満
5: 4年～5年未満 6: 5年～10年未満 7: 10年以上

問6) あなたのお子様の人数をお答えください。(人数をご記入ください)

小学校就学前	小学生	中学生	高校生	大学生	専修学校生	その他
人	人	人	人	人	人	人

※高校生には、高等専門学校の生徒を含む

※大学生には、短期大学の生徒を含む

※専修学校生とは、専修学校(一般課程・専門課程)及び各種学校の生徒のこと

問7) あなたのお住まいの状況についてお答えください。(いずれか1つを○で囲む)

- 1: 自分名義の持家 (共同名義を含む) 2: 自分以外の名義の持家 (親等の名義)
3: 公営賃貸住宅 (市営・道営など) 4: 社宅・会社の寮 5: 民間賃貸住宅
6: その他 ()

問8) あなたの1か月の収入 (養育費・各種手当を含む、1か月当たりの平均手取り収入) をお答えください。(いずれか1つを○で囲む)

- 1: 5万円未満 2: 5万円～10万円未満 3: 10万円～15万円未満
4: 15万円～20万円未満 5: 20万円以上

問9) あなたのひとり親家庭になる前の就業状況をお答えください。(いずれか1つを○で囲む)

- 1: 就業していた 2: 就業していなかった

→ 【問9で「1: 就業していた」とお答えいただいた方にお伺いします】

問9-1) 当時の就業の形態をお答えください。(いずれか1つを○で囲む)

- 1: 自営業主 2: 正社員・正規職員 (常用雇用者) 3: 臨時・パート
4: 派遣社員・契約社員 5: 家族従業者 (家族が営む事業の手伝い) 6: その他

問10) あなたの現在の就業状況をお答えください。(いずれか1つを○で囲む)

- 1: 就業している 2: 就業していない

→ 【問10で「1: 就業している」とお答えいただいた方にお伺いします】

問10-1) 現在の就業の形態をお答えください。(いずれか1つを○で囲む)

- 1: 自営業主 2: 正社員・正規職員 (常用雇用者) 3: 臨時・パート
4: 派遣社員・契約社員 5: 家族従業者 (家族が営む事業の手伝い) 6: その他

問10-2) 現在の職種をお答えください。(いずれか1つを○で囲む)

- 1: 管理職 (会社・官庁・団体の役員、管理職 など)
2: 専門・技術職 (教員、看護師、栄養士、保育士、弁護士 など)
3: 事務職 (事務系会社員、経理事務員 など)
4: 販売職 (小売店主、卸売店主、販売店員、営業社員 など)
5: サービス職 (飲食店主・店員、理美容師、介護職員、調理師 など)
6: 保安職 (警察官・消防士・自衛官、警備員 など)
7: 農林漁業職 (農業従事者、林業従事者 など)
8: 生産工程職 (自動車整備・修理従事者、印刷・製本従事者 など)
9: 輸送・機械運転職 (バス運転者、貨物自動車運転者、クレーン運転従事者 など)
10: 建設・採掘職 (大工、とび職、土木従事者、配管従事者 など)
11: 運搬・清掃・包装等職 (配達員、清掃員、学校の用務員 など)
12: その他 ()

問10-3) 転職の希望についてお答えください。(転職を希望する方はその理由を1～7のいずれか1つを○で囲む、転職を希望しない方は8を○で囲む)

- 1: 収入が良くない 2: 勤め先が遠い 3: 就業日・就業時間が合わない
4: 健康がすぐれない 5: 社会保険がない又は不十分 6: 身分が安定しない

7: その他 ()

8: 転職は考えていない

【問 10 で「2: 就業していない」とお答えいただいた方にお伺いします】

問 10-4) 就職の希望についてお答えください。(就職を希望する方は就業していない理由を1~8のいずれか1つを○で囲む、就職を希望しない方は9を○で囲む)

- 1: 求職中 2: 職業訓練・技能習得中 3: 時間について条件の合う仕事がない
4: 収入面で条件の合う仕事がない 5: 年齢的に条件の合う仕事がない
6: 子どもの世話をしてくれる人がいなくて働けない 7: 病気で働けない
8: その他 () 9: 就職は考えていない

問 11) あなたの現在の資格の取得状況をお答えください。(あてはまる番号を○で囲む。※複数回答可)

- 1: 簿記 2: 看護師 3: 准看護師 4: 保健師 5: 歯科衛生士 6: 介護福祉士
7: 介護職員初任者研修課程修了 8: 介護支援専門員 9: 保育士 10: 幼稚園教諭
11: 教員 12: パソコン 13: 栄養士 14: 調理師 15: 普通自動車免許
16: 大型自動車免許 17: 理容師・美容師 18: 医療事務
19: その他 () 20: 資格なし

問 12) あなたが今後取得したい資格をお答えください。(あてはまる番号を○で囲む。※複数回答可)

- 1: 簿記 2: 看護師 3: 准看護師 4: 保健師 5: 歯科衛生士 6: 介護福祉士
7: 介護職員初任者研修課程修了 8: 介護支援専門員 9: 保育士 10: 幼稚園教諭
11: 教員 12: パソコン 13: 栄養士 14: 調理師 15: 普通自動車免許
16: 大型自動車免許 17: 理容師・美容師 18: 医療事務
19: その他 () 20: 特になし

問 13) あなたの養育費の受取りについてお答えください。(いずれか1つを○で囲む)

- 1: 養育費を受け取っている 2: 養育費を受け取っていない

【問 13 で「1: 養育費を受け取っている」とお答えいただいた方にお伺いします】

問 13-1) 過去1年間にもらった養育費の総額をお答えください。(いずれか1つを○で囲む)

- 1: 12万円未満 2: 12万円~36万円未満 3: 36万円~60万円未満
4: 60万円~84万円未満 5: 84万円~108万円未満 6: 108万円~132万円未満
7: 132万円~156万円未満 8: 156万円以上

問 13-2) 養育費の受取りの取り決めについてお答えください。(いずれか1つを○で囲む)

- 1: 調停で取り決めている 2: 書面で取り決めている 3: 口頭で取り決めている
4: 取り決めをしていない 5: その他 ()

【問 13 で「2: 養育費を受け取っていない」とお答えいただいた方にお伺いします】

問 13-3) 養育費を受け取っていない理由についてお答えください。(あてはまる番号を○で囲む。※複数回答可)

- 1: 相手方に支払う能力がなかった 2: 相手方と関わりたくなかった
3: 取り決めをしたが、履行されていない 4: 相手方が支払いを拒否した
5: 取り決めをしていなかった 6: 相手方と連絡が取れない
7: 自分に収入があるため、養育費を受け取る必要がない

問 14) 学校卒業後のお子様の進路についてお答えください。(下表の該当する枠内に人数をご記入ください)

今年3月に <u>中学校</u> を卒業したお子様がいる方					今年3月に <u>高校</u> を卒業したお子様がいる方				
人数	卒業後の進路				人数	卒業後の進路			
	高等学校	高等 専門学校	就職	その他		大学等	専修学校 等	就職	その他
人数	人	人	人	人	人数	人	人	人	人

※大学等とは、大学及び短期大学

※専修学校等とは、専修学校（一般課程・専門課程）及び各種学校

問 15) 公的サービス等の利用状況についてお答えください。(各項目、あてはまる番号 1つを○で囲む)

		1 利用した ことがある	2 今は利用して いないが、今 後利用したい	3 利用する 必要がない	4 知らない
記入例		1	2	③	4
①	福祉事務所相談窓口（市こども課） （母子・父子自立支援員）	1	2	3	4
②	ひとり親家庭等医療費助成	1	2	3	4
③	ひとり親家庭等日常生活支援事業	1	2	3	4
④	母子家庭等就業・自立支援センター	1	2	3	4
⑤	高等職業訓練促進給付金事業	1	2	3	4
⑥	自立支援教育訓練給付金事業	1	2	3	4
⑦	高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	1	2	3	4
⑧	母子・父子・寡婦福祉資金貸付金制度	1	2	3	4
⑨	帯広市自立相談支援センター ふらっと （生活困窮者自立相談支援事業）	1	2	3	4
⑩	生活保護の相談（市保護課）	1	2	3	4
⑪	お助けネット（帯広市つくし会）	1	2	3	4
⑫	スクールカウンセラーによる相談	1	2	3	4
⑬	就学援助費（市学校教育課）	1	2	3	4
⑭	こどもに関する相談（市子育て支援課）	1	2	3	4
⑮	テレフォン相談 （十勝こども家庭支援センター）	1	2	3	4
⑯	子育て短期支援事業（ショートステイ） （十勝学園）	1	2	3	4
⑰	帯広児童相談所	1	2	3	4
⑱	市の市民相談室	1	2	3	4

問 16) 市や北海道で行っている制度を調べる方法として、主なものをお答えください。

